

平成二十九年五月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十五巻 第五号 通巻七三八号



日本書道芸術協会

2017- 5

## 卷頭言

# “本格の輝き”読売書法展に挑戦

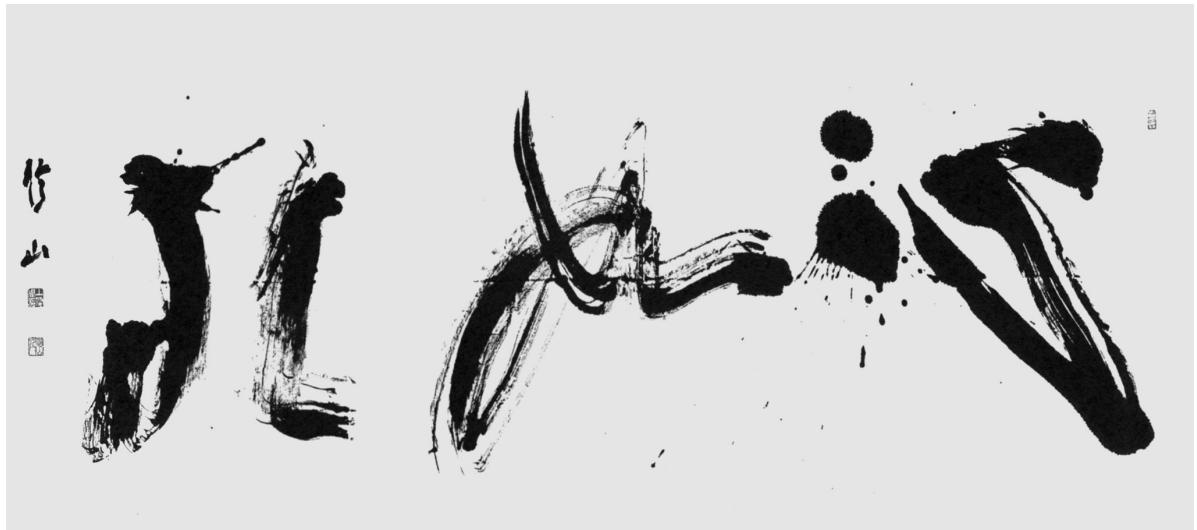
副理事長 虎井暁鐘

私が上條信山先生に師事して、すでに五十年になります。まさに光陰矢のごとき思いがいたします。信山先生には、私の中学生時代の恩師が、先生の門下生であつたことから縁が出来たのです。師弟のめぐりあいには、多くの場合、偶然にしても縁というか運命的なものがあるようと思われます。しかしそれによって、その人の書道人生の道筋が決定するほど大切なことです。

私の幸運は上條信山先生に師事することが出来たことはもちろんですが、先生が中央書壇最高峰として活躍される大家であり、主宰する書象会が日展、読売書法展（当時は毎日展）、謙慎展という有名展覧会に所属して、出品することを使命とする書道団体であったことです。もし私が在野の先生に就いていたら、現代感覚に満ちた信山流を学ぶことも、日展、読売書法展、謙慎展に出品するチャンスもなかつたろうし、優秀な先輩や、書友達と競いあって切磋琢磨することも叶わなかつたでしょう。ですから縁あって書象会に所属し、本誌で勉強されている会員諸兄は、たいへんに恵まれていて、努力次第ではいくらでも上達する環境にいるのです。そしてその上達の手段として、一番有効な勉強方法が、中央書展への出品なのです。

さて、五月、六月は「書壇の登龍門」といわれる読売書法展の季節です。読売書法展は日本最大の書道展覧会で、『本格の輝き』が示すごとく伝統派書道のメッカです。「登龍門」と言われるだけに、日展に次ぐレベルの高い展覧会で、入選率も約六割という難関ですが、この難関を突破すれば、書作家として世の中に認められたと言つても良いでしょう。書象展、謙慎展よりも作品規格が大きくなつて、まさに大作を制作することになりますが、それだけに書き上げた時の達成感には格別なものがあります。日頃鍛え上げてきた信山流の切れ味を、大きな紙の上に躍動させる醍醐味は、それは素晴らしいものです。

初めて挑戦される方の心構えですが、はじめから結果を期待せずに根気よく出品を続けることです。かく言う私も若い頃は入選、落選を何回も繰返したもののです。『失敗は成功の基』その通り。あきらめずに、ひたむきに努力すれば、必ず目標を達成することができます。それが私の貴重な経験でもあります。



上條先生書「心如水」1994年



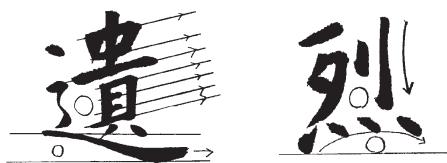
山花任意發

5月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付



5月20日必着  
出品券を貼付

- 獻…偏の部分は空間を残し、左右の払いを伸びやかに。
- 風…構えを引き締めつつ、空間も大切に。
- 檀…偏の方向を統一する。
- 早…右払いは伸びやかに。
- 史…右払いは伸びやかに。
- 刺…偏の書き方に注意、最終画は鋭く。

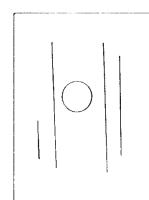


・ 縦画は垂直、横画は  
やや右上がりで平行  
にする。  
・ 点画に窮屈なところ  
がないよう、文字の  
空間を美しくまとめ  
る。

仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

・全体構成は左図の通り中央部を広く、各行は若干左に倒れます。



・二行目、「の(農)な(那)が(可)した(多)る」は軽快に。

「の(農)

「な(那)

「た(多)」

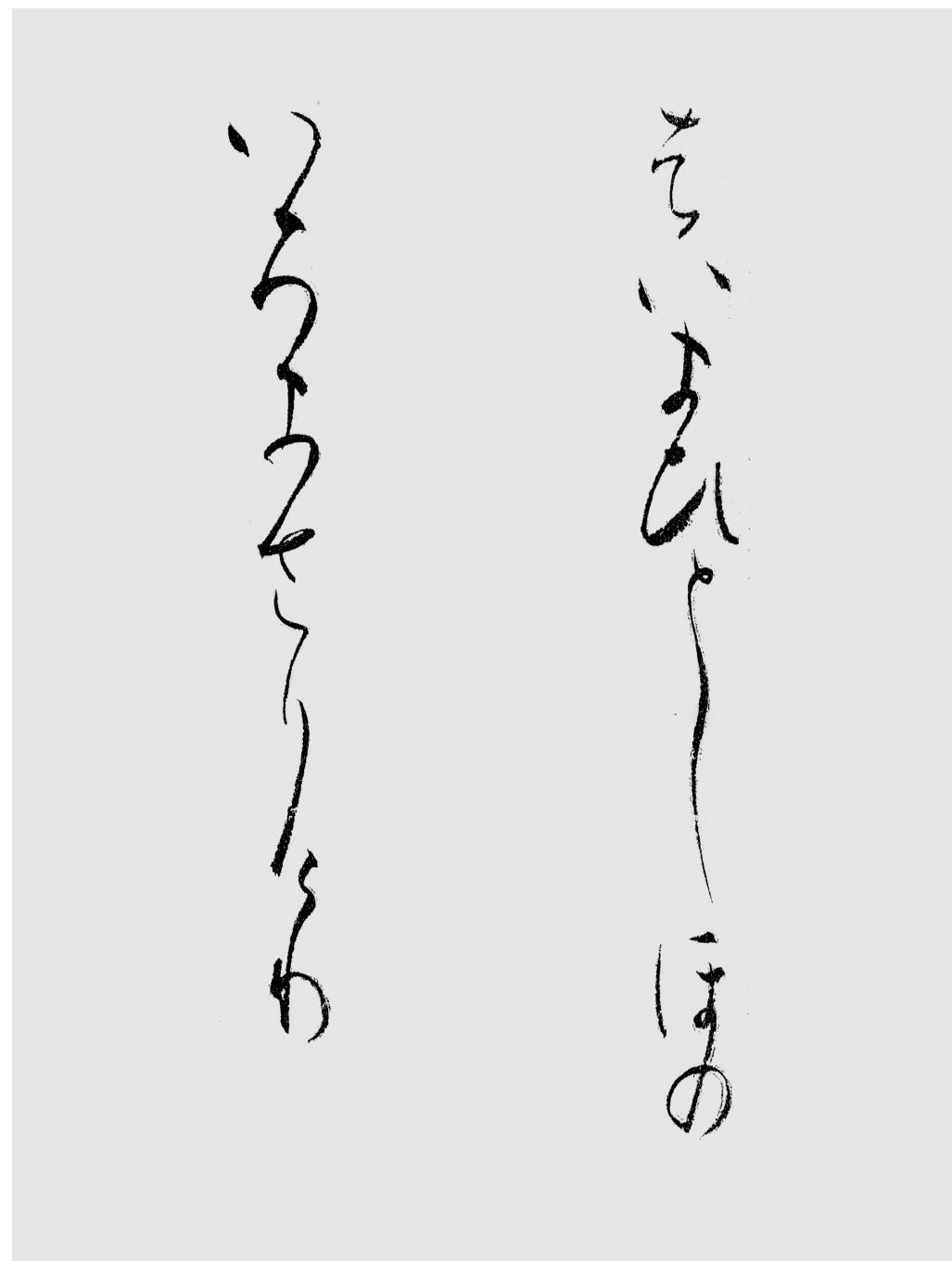
「落」

・三行目、「落」と「閑」は横に広がりを持たせる。

山道に(二)ゆふべの(能)雨の(農)な(那)が(可)した(多)る  
松の落ば(者)、か(閑)た(多)より(利)に(二)け(希)り(利)

(島木赤彦)

5月20日必着  
出品券を貼付



- 「の」「い」「る」など、右回りの円運筆が多くありますが、軽快に筆を運ぶ。
- 特に二行目は長い連綿になる。
- そのためには機械的に何度も練習して腕に運筆のリズムを覚えさせるように。

研 究 [研究]

張猛龍碑

积分文 下庭に（栖）遲し、素心は（雪）の若し。

今月のポイント 逆筆を強く当てる。払いは伸びやかに書く。



遼素心若雪

写実的臨書 虎井暁鐘先生書



表現的臨書（懷抱的な文字構成） 内藤望山先生書

※どちらか一体を出品してください。

5月20日必着

出品券を貼付  
入選作のみ発表します

琴心詩趣

作山書

琴情

琴情

琴心詩趣の情

- ・字形の変化を意識して作品をまとめたい。
- ・「心」「詩」「趣」の払いが作品を生かすポイント。
- ・「琴」「情」はP14参照。

調和体条幅随意【条隨】

市澤 静山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

相送りも高臺に際めば川原  
杳こそと何ぞ極まらん

王維の句  
鄰山房

臨高台黎拾遺を送る（王維）  
相送りて高台に臨めば  
杳として何ぞ極まらん

- ・漢字と調和させるため、ひらがなも太めの線で書く。
- ・「臺(台)」「原」「杳」はP14参照。

石破天驚

中学一年規定【学毛】

杉山曉雲先生書

敢早起

中学二・三年規定【学毛】

内藤望山先生書

小学五年規定【學毛】

山口啓山先生書

山道登攀

小学六年規定【學毛】

露崎玄峯先生書

林林葉葉

小学三年規定【學毛】

烟台高山先生書

十月

小学四年規定【學毛】

大澤精光先生書

五月

小学一年規定【学毛】

大島校山先生書

This image shows a large-scale calligraphy of the Chinese character '人' (person) in cursive script. The character is rendered with thick, expressive black ink strokes on a light gray background. The brushwork is fluid, with the left stroke curving upwards and to the right, and the right stroke forming a downward hook.

小学二年規定【学毛】

虎井曉鐘先生書

This image shows a large-scale calligraphy of the Chinese character '人' (person) in cursive script by Kogai Yūchō. The character is written with bold, dynamic black ink strokes on a light gray background. The style is more angular and forceful than the one above, with distinct, sharp-edged forms.

## 硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範段位)

上條信山先生書

先月末左記へ移宅いたしました(志)た(多)上馬橋下車すぐ近くです(須)是非お立ちより下さい  
御報まで

初夏、麦の実る季節だ。穂波を立たせて麦畑を渡る風は、清い香気を含む。

中学規定【学硬】

樋口玄山先生書

天上かけはかはうなど草木枯はうる  
世のすがたうつさんとくか今もなほ  
ああ荒城の夜半の月

一般規定【一硬】(級位)

藤岡月華先生書

先月あなた記へ移宅いたしました(志)た(多)上馬橋下車すぐ近くです(須)是非お立ちより下さい  
御報まで

お立ちより下さ、御報まで

## 小・中学生随意課題【字隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付して下さい。

一小 ・二年学	天
五小 ・六年学	景色
中 学	鳥
三小 ・四年学	溪流

### 手本解説

・基本 「山花任意發」は左図参照。

・隸書条幅規定 「琴」「情」は左図参照。

琴 情

学生部規定

散歩

中学二・三年

「早」の最終画は中心に。「起」は偏旁の組み合わせ方に注意。「き」は筆脈を意識して四画目の終筆は止める。「散」の上部の縦画は左側を、下へ長く。「歩」の上部は横広を意識する。

電光火石

中学一年

「電」の二画目の角度は平行に。「光」は一点に、二、三画目の角度は対称に。目を中の二画目は書き出しの位置に注意。「火」は左右の払いを広げバランスを保つ。「石」

春のクラス遠足は、緑がとても美しい大山のハイキングに決定しました。

小学三・四年規定【学硬】

恩田静月先生書

ステホの美しい歌声は、草原をこえて遠くまでいくのでした。

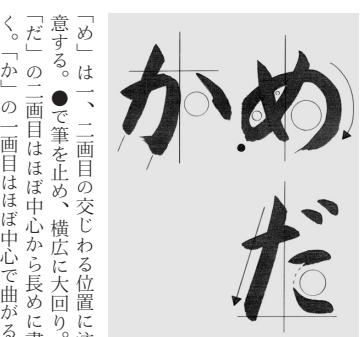
小学一・二年規定【学硬】

小渕石峯先生書

し	み	と
て	た	し
み	い	よ
よ	ほ	か
う。	ん	ん
なまえ		
さ	を	で
か	さ	、
きゅう	だん	よ
支部		
年		
年		
級段		

※出品券を貼付して下さい。

一般（師範・準師範・段位）・一般（級位）・中学生はペンを使用のこと（中学生は鉛筆も可）。小学生は鉛筆のこと。作品の大きさ↓たて18cm 横7cm 小1・二課題↓2.1cm 中の野線を引く。小3・四・五・六課題↓2.1cm 中のマス目



小学二年



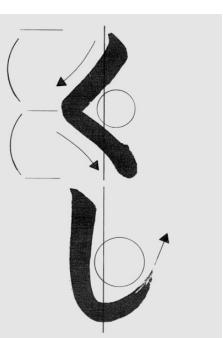
小学四年



小学六年

「新」の横画は五画目を長く、旁はやや下げる。「綠」は点、払いの大きさ、方向に気をつける。「の」は中心から角度と上右の組み合わせ方に注意する。角か方や  
「五」の横画は台形。二、三画目の曲がりは斜線を長くする。「月」の背を低い角度を意識して定する。筆脈の一画目は気味折れで全体の払いを意識する。「ば」の一画目は外方にねじる。「ぱ」の一画目は内方にねじる。「れ」は左右の組み合わせ方に注意する。

「め」は一、二画目の交じわる位置に注意する。●で筆を止め、横広に大回り。書く。「だ」の二画目はほぼ中心から長めに書く。「か」の一画目はほぼ中心で曲がる。



小学一年



小学三年

「古」の一、二画目は互いに一等分するように交じわる。「ど」の曲がりは筆圧をやや緩めて腕を大きく動かす。「け」は向かい合う線の角度に注意する。



小学五年

左本はげ、登は左右の組み合わせ方に注意する。「山」は縦長の台形。斜線を長く。「道」は三形線の間隔、長さに注意する。

古典研究シリーズ ⑩ 【古典】

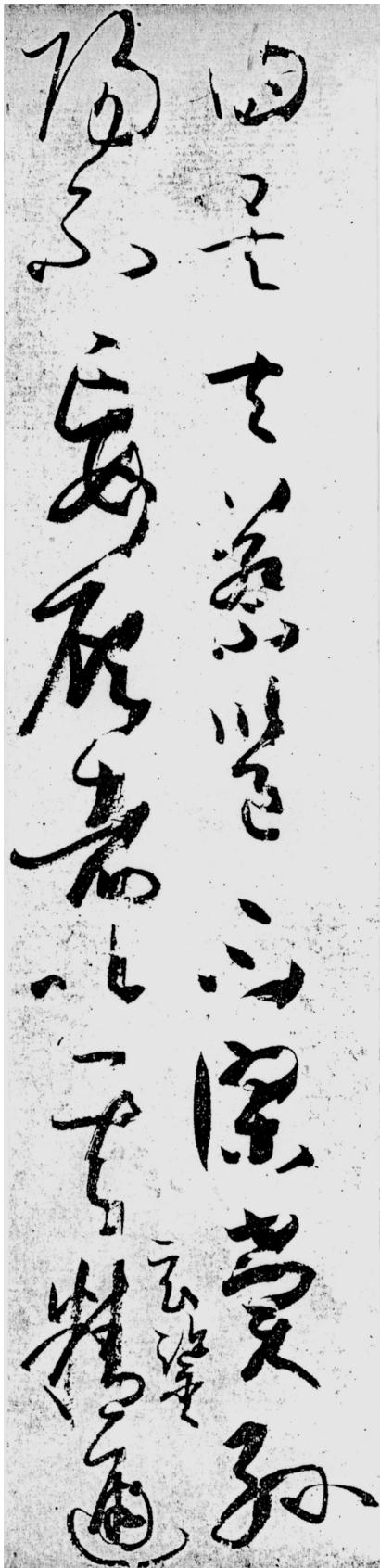
書 譜

唐六八七年

孫過庭 (六四八?~七〇三年?)

書き方

- ①文字数を間違えないで出品して下さい。
  - ②続き文字でなくとも構いません。
  - ③落款を入れて下さい。
  - ④作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。
- (編集部)



〔訛文〕 由矣。夫蔡邕不謬賞。孫陽者。以其鑒精通。

今月のテーマ 写実的臨書 中字 (四~六字)

字形・書風の特徴Ⅱ

ア 節筆が甚だしく見られ、折り目だけによるとは考えにくい。傍線部は折り目を示す。



イ 縦画が異常に太い箇所がある。傍線部は折り目を示し、かららざしも折り目は文字の中心ではない。



# —信山先生の自伝—

## 「硯上の塵」を読む55

上條先生にとっての中国は、特別の地でした。前号では北京から洛陽への旅、古陽洞に入つて龍門石窟内の笑顔でカメラに向かう先生を紹介しました。引き続き西安からの旅程です。そして、先生はこの翌年七月、書教育者の団体の総団長として再度中国を訪れることがあります。

### 1. あこがれの大地 ②

西安では大雁塔、碑林の見学。碑林では小学生の頃から手習いをしていた皇甫誕碑、あるいは曹全碑、集字聖教序、興福寺断碑、顏氏家廟碑、争座位帖をはじめとする六百柱を越す古碑をつぶさに拝観することができた。今日の碑林は大半の名碑に拓本が張られ、それをガラスでおおっているが、当時の碑林はすべてが直接その肌を見せており、石刻の状況までをも細かに観察できた。真に触れるということの意義、そして中国書道史の根源の大きさを十分に堪能させるものであった。いくつかの学校見学を通じて、明るく活発な子供の姿を見ることが少なからず感ぜられた。

さらにはアーリング工場、大柵欄街地下壕、人民公社、病院では当時話題を集めていた針医学の驚異を実際に見学するなど、書道以外のいろいろな中国の姿を見ることができたことも、中国を知り、中国に対する友好の心を増す意味で大きな収穫があった。バスが走る道路の端を、二頭、三頭、五頭立ての驢馬車が、コツコツと小さみな足音を立てる。まるで夢の中で描かれた画のような悠揚さがそこにあります。

最も忘れないのは、毛主席記念堂の参拝を許されたことであった。立ちながら走つてゆき、見ると車の主人公は積み荷の上に仰向けになつて眠つてゐる。まるで夢の中で描かれた画のような悠揚さがそこにあつた。

朝九時、宿舎の友誼賓館から天安門広場に到着。記念堂は広場をはさんで天安門の向かい側に位置し、清楚にして壮大な姿を見せていた。すでに何千人という地方代表の兵士が静かに整列していた。私たちはその中央を、他の外国人使節とともに静かに進んだ。第一ホール正面に、大理石の真新しい毛主席の彫像が、ほほえむが如くに堂々として私たちを迎へ、その背後には中国の広大な山河がみごとに描かれていた。

さらにその裏側の第二ホールに、偉大な指導者毛主席のご遺体が、透明な水晶張りの中に安置され、その上に赤い党旗が掛けられていた。堂内は針一本落ちるのも聞こえる静寂さで緊迫していた。すべての兵士が素手で涙を抑えている。私は甚く胸をゆすぶられ、深く黙祷をささげたのであつた。

この感激いまださまやらぬ翌年七月から八月にかけて、私は再び中国を表象するに十分なものがあつた。徹底した思想教育、政治教育、労働の神聖さを体得させるための施設と時間配当、理論と実践、教材の工夫などには、日本の教育の将来において、積極的に導入すべき点

学者であつて、売芸の書家ではなかつたから、その作品数はきわめて少なく、日本ではまったく手に入らないし、前回の訪中の際でも、各地の文物商店を訪ね歩いたが、わずかに拓本資料は求められたものの、真筆となると、どこでも返つてくるのは、「没有（ありません）」のすげない返事ばかりであった。

# 第七十九回謙慎書道会展入賞者発表

◇梅花賞		江上 玄光	小倉 煙雪	小田切 静唱	織戸 晨玉	宇野 売裕	大場 香峰	片桐 南花	金坂 心快	鶴浦 湖山
◇春興賞		芦川 臨泉	上條 恵香	酒井 溪月	草彌 影宵	久保田珠悠	来司 信博	窪田 祥仙	渕田 喜峰	荻原 梓虹
◇推薦顧問賞		中村 秀華	結城 正憲	齋藤 盈月	児玉 葉雪	小林比出代	近藤 静志	齊藤 尚山	熊坂 吳碩	上條 哲山
◇特選謙慎賞		秋葉 景華	高橋 淡愁	崎山 芳葉	齋藤 彩節	酒井 不同	佐藤 静心	佐久間蒼峰	佐久間秋玉	川島 星峰
◇秀逸		菊池 龍節	桑島 秀雪	早乙女墨光	谷川 汀楓	豊田 尚月	田口 虹汀	齊藤 祥仙	片桐 静章	榎本 姬野
◇褒状		長田 詠李	濱野 清遠	柳田 志華	野口 節風	長谷川清風	野口 虹汀	齊藤 優月	南花 静志	香峰 晴千
◇秀逸		原口 華煌	神谷 董節	牧野 穂宛	谷川 汀楓	豊田 尚月	田中 穂暉	佐藤 静章	金坂 心快	大場 香峰
◇秀逸		二木 廣山	吉田 雅節	蘭庭 稔秀	豊田 尚月	高橋 麗湖	田中 穂暉	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇秀逸		岩出 虹舫	志華 祥風	宮坂 幸子	高橋 麗湖	高橋 麗湖	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇秀逸		緒方 愛節	新井 雄峰	平野 芳節	高橋 麗湖	高橋 麗湖	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇秀逸		小川 玄虚	板谷 静思	泰松 文界	吉田 麗楓	吉田 麗楓	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		井上 安達	森井 京琴	周藤 文界	吉野 桃彩	吉野 桃彩	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		江静 曙峰	市川 泰空	平林 文界	吉野 桃彩	吉野 桃彩	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		岩村 燿花	春桃 智輝	泰松 文界	吉野 桃彩	吉野 桃彩	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		上田 採花	武浩 静思	高月 香節	山本 明光	山本 明光	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		姫野 田幸	坂井 加藤	湯本 香窓	前田 珠靜	前田 珠靜	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		千節 智峰	坂井 加藤	愛麗	智爽	智爽	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		平林 静千	坂口 加藤	山田 務台	松村 恭月	松村 恭月	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		潮虹 伊達	節庵 加藤	山田 翠山	林田 智翠	林田 智翠	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		前島 姉野	土井 高橋	大村 片岡	水野 経霜	水野 経霜	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕
◇褒状		孝子 珠松	雲峯 錦風	坂井 珠松	森島 美光	森島 美光	佐藤 静志	窪田 神象	窪田 神象	宇野 売裕

增山 静敬  
村山 麗恵

書道会展御長壽出品章

森村 橫川  
湖亭 景城  
鈴木 峰雲  
滝澤 猛

◇ U20出品者

(満17歳以上20歳以下の出品者)

小笠原ひより  
川田結女  
高橋千鶴  
里奈

役員出品

(○印は今年度審査員)

副会長

副理事長

市澤 静山

常任理事  
石丸 晓風

大澤 梢光

大島  
皎山

坂牛	斎田	小林	木暮	木本	上條	片町	小川	岡田	泉澤	今井	翔山	禾苑	花嵐	有馬	青木	柳澤	○虎井	高瀬	竹内	高瀬	杉山	小渕	荻田
静心	昌静	鐘仙	靜翠	彩暉	恵香	光仙	仙草	象月							雪花	玄嶽	暁鐘	霞山	窓影	石峯	光山		
佐藤	齊藤	小室	小林	小泉	川島	金井	小原	岡本	宇野	一久	詠香	五十嵐	惠芳	青木	青木	藤澤	二瓶	嶽風	藍山	内藤	○露崎	未永	恩田
京香	悠花	墨汀	皓山	壺藍	映雪	鐘華	香菊	秋麗	夏夕					橙華	大節	○山口	○畠中	内藤	竹内	鈴木	春鳳	曉華	
渡江	酒井	小山	小林	古賀	北井	蕪木	笠原	岡本	伊藤	江上	池上	素雪	玄光	芦川	○山口	○畠中	高山	望山	西野	江月	静月		
皎雲	溪月	春聲	宵月											臨泉	○桶口	○桶口	寺尾	竹内	碩雲	杉山	曉雲	妍山	久保

渡辺	横田	余語	薮内	宮寺	三沢	益田	藤牧	藤井	平岡	針原	橋本	西貝	中山	中内	遠山	塚本	田中	武原	鈴木	鈴木	杉山	宿谷	渋谷	
泰琴	小泉	元祥	光葉	瑠光	泰仙	冠山	峰雪	憬花	想花	伯翠	幸楓	雅堂	香月	真意	天妙	皎沙	珠光	幽節	蒼舟	香扇	登舟	硯心	静秀	
南條	吉田	横川	山本	森	宮崎	松田	布施	藤岡	平川	日比野	長谷川	石心	那須	都所	都竹	田中	田島	関澤	鈴木	白瀧	静苑	清水川	蓮堤	
素琴	節城	景城	草心	晨英	京楓	幼山	杠華	月華	華凜	照悦	日比野	照悦	明花	彩禾	影花	仙華	翠花	涛仙	劍山	春虹	花照	花照	南岳	
米倉	横田	結城	柳澤	宮田	美齊	津嶽	心	古川	藤澤	福山	日比野	汀華	原田	橋本	成瀬	中村	中井	塚原	田中	高瀬	鈴木	菅野	下平	
花光	四葉	正憲	雪葉	天遥	琇光	竹虹	京江						柳泉	桂雪	恵苑	秀華	陽理	花瑤	紫花	秀琴	草影	花仙	素杏	南岳

# 第79回 謙慎書道会展

第一会場 東京都美術館

会期 三月二十日（月・祝）～二十七日（月）

第一会場 池袋サンシャインシティ  
ワールドインポートマートビル四階

会期 三月十九日（日）～二十七日（月）

副会長 審査顧問 特別賞選考委員

田中節山



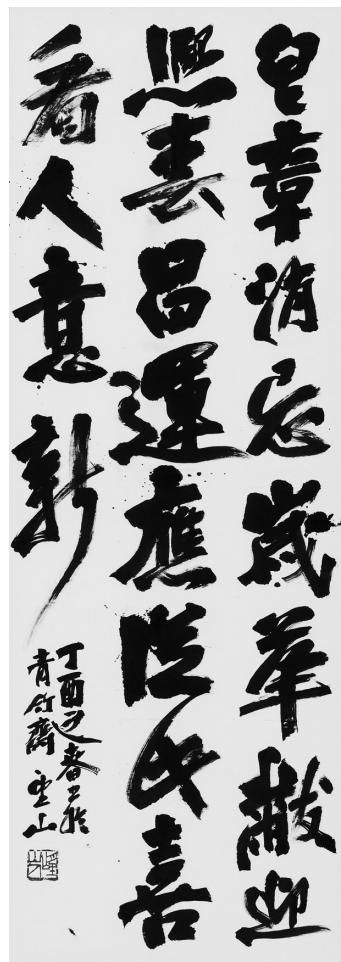
副理事長 審査進行 特別賞選考委員

市澤 静山



常任理事 特別賞選考委員 今年度審查員

内藤望山



常任理事 今年度審查員



山口啓山

常任理事 今年度審查員

露崎玄峯



- 21 -



常任理事 今年度審查員

樋口玄山



常任理事 今年度審查員

虎井暁鐘



常任理事 今年度審查員

萩田光山



常任理事 今年度審查員

烟中高山

# 第79回謙慎書道会展

## 迫力のデモンストレーション

期 日 三月二十日（月）  
会 場 東京都美術館 第一室

第79回謙慎書道会展の第一会場である東京都美術館において、席上揮毫のデモンストレーションが催されました。

三月二十日の午後、樋口玄山先生のほか日賀野琢先生、高橋秀箭先生により、多数の見学者の目の前でダイナミックな揮毫が披露されるとともに、出来上がった作品の解説や三人の先生と師匠との出会いなどの楽しいトークも展開されました。

「栖碧山」の大きい三文字のバリに臨んだ樋口先生の揮毫では、ほとばしる墨滴に歓声が上がるなど、春の到来を感じさせる当日の暖かな気候と相俟って、会場は熱気に包まれました。

書き終えた後、作品の見せ場では筆をどう効果的に使うかなどについて樋口先生から具体的な解説があり大変勉強になりました。また、「上條先生に『墨魔』という作品があります。墨は生きている、魔力がある。墨が輝いたとき、墨が生きたときには良い作品になるし、形は同じであっても墨が紙に沈むとそうではなくなります。」とのコメントもあり、書の魅力、書の奥深さを改めて感じたひと時でした。

（清武淨山記）



張り詰めた空気の中で筆が躍動する



印を押して完成！



作品の解説をする樋口先生



書き上げた作品を鑑賞する来場者の皆さん

# 第42回埼玉書道三十人展

会期 二月二十八日(火)～三月五日(日)  
会場 埼玉県立近代美術館一般展示室Ⅰ



時不駐 (80×228)

市澤 静山



李太白詩 (80×223)

市澤 静山

## 書道教室紹介ページ申込みについて

書象会ホームページでは書象会の活動や上條信山先生の紹介、書象誌に関することや展覧会の案内に加え、書道を習いたい人向けの『書道教室紹介』のページを掲載しております。

- 1 申込方法 支部紹介掲載ご希望の先生は、ホームページ掲載登録用紙を書象会本部迄ご請求ください。  
登録用紙が届き次第、支部紹介登録用紙【A】もしくは支部紹介登録用紙【B】のいずれかを選び、書象会本部までご返送ください。  
申込用紙の送付と費用振込の確認完了次第、順次ホームページに掲載いたします。
- 2 掲載内容 支部紹介登録用紙【A】  
教室名 指導者名 所在地 最寄り駅 連絡先 稽古日 月謝 指導者の紹介の8項目を掲載します。  
また「教室のPR」と「支部長先生ホームページアドレス」を掲載します。  
支部紹介登録用紙【B】  
教室名 指導者名 所在地 最寄り駅 連絡先 稽古日 月謝 指導者の紹介の8項目を掲載します。
- 3 年間登録料 支部紹介登録用紙【A】→年間2,000円  
支部紹介登録用紙【B】→年間1,000円

\*書象会ホームページの書道教室紹介ページに関するお問い合わせ等は、書象会本部までお願ひいたします。

書象会ホームページ「書道教室紹介」はこのアドレスでご確認ください。

[shoshou.com](http://shoshou.com) で今すぐクリック

## 平成二十九年度「支部長講習会」

平成二十九年度の支部長講習会を左記のとおり開催いたします。

今回は、昨年大幅に改訂された書象誌手本を取り上げます。各支部の指導に活かせる講習内容を企画しております。

書象展会期中の国立新美術館研修室での開催ですので、お仲間お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### ◆日時

六月十八日(日) 十三時三十分～十六時

受付

十二時三十分より

途中十五分間の休憩をはさみます。

### ◆内容(予定)

- 一 上條家ご挨拶
- 二 理事長挨拶

書象会理事長	市澤 静山	先生
書象誌手本の解説及び実技講習	市澤 静山	先生
講師	内藤 望山	先生

### ◆持参用具

書道用具一式  
新聞紙もご用意ください

◆会場  
◆定員  
◆会費  
◆申込み

国立新美術館 三階 研修室  
無料  
四十名

書象展会本部までお早めにお申込ください。

□ 0422(53)9743

## 平成二十九年度 実技講習会「信山流半切作品の技法」

平成二十九年度の書道講習会を左記のとおり開催いたします。

今回は上條信山先生の書表現である「信山流半切作品」について、解説ならびに講師による模範揮毫実技講習を企画いたします。普段、書象誌上や通信条幅研究会添削だけで勉強されている会員の皆様やこれから展覧会に向けて作品作りに取り組もうとお考えの方は、必ずお役に立ちます。

書象展会期中の国立新美術館研修室での開催ですので、お仲間お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### ◆日時

六月二十三日(金) 十三時～十六時

受付

十二時三十分より

途中十五分の休憩をはさみます。

### ◆講師

田中節山先生	・	・	楷行書体五文字一行作品
樋口玄山先生	・	・	隸書体五文字一行作品
中村巍山先生	・	・	仮名三行作品書

### ◆内容

右記の各先生方による各体の執筆・腕法やその書体にあつた適切な文房四宝などの講義のあと、模範揮毫と参加者を交えた実技講習を行います。  
※講義および実技の資料は会場で配布いたします。

◆会場  
◆定員  
◆会費  
◆申込み

国立新美術館 三階 研修室  
二千円  
五十名

書象展会本部までお早めにお申込ください。

□ 0422(53)9743

奈良市杉岡華邨書道美術館主催  
平成29年度秋季企画展

奈良市立杉岡華邨書道美術館では、平成20年度より関西を中心に書壇を代表する会派や門流の多角的な書道展示会が開催されてきました。その後、関東を中心に活動する謙慎書道会に話が及び、以下の通り門流展の開催を終えています。書象会にも門流展開催の要請があり、承諾する運びとなりました。

謙慎の書① 西川 寧の門流－新井光風と猗園文会選抜展 平成25年10月

謙慎の書② 青山杉雨の門流－梅原清山と寄鶴文社選抜展 平成27年4月

謙慎の書③ 青山杉雨の門流－樽本樹邨と轟友会選抜展 平成28年4月

**謙慎の書④ 上條信山の門流－書象会選抜展**

☆会期 平成29年10月7日（土）～平成30年1月14日（日）

午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合、最も近い平日）

祝日の翌日（その日が平日の場合）

※年末・年始の休館日は以下の通りです。

平成29年12月26日（火）～平成30年1月5日（金）

☆会場 奈良市杉岡華邨書道美術館

〒630-8337 奈良市脇戸町3番地

TEL 0742-24-4111

FAX 0742-20-6677

☆出品者	田中節山	高田墨山	市澤静山	内藤望山	中村巍山	二瓶嶽風
	虎井暁鐘	杉山暁雲	樋口玄山	山口啓山	柳澤玄嶽	露崎玄峯
	荻田光山	小渕石峯	石丸暁風	大澤梢光	畠中高山	宮本耕成
	竹内墨洋	寺尾碩雲	魚住卿山	大島皎山	久保研山	小室墨汀

☆開展 平成29年10月7日（土）午前11時

美術館1階

※書象会会員の皆様方、特に関西・中部地区在住の書象会会員の皆様方には多数のご参列をお願いします。

☆書道文化講座 平成29年10月8日（日）午後1時～午後2時

※本会審査会員・前神戸大学教授魚住卿山先生による書道講演会を開催致します。  
是非ご出席ください。

☆作品鑑賞会 選抜展会期中に、書象会主催の作品参観ツアーを実施致します。観光を兼ねた楽しい1泊旅行を計画しております。（詳細は後日掲載予定）  
尚、出品者、各支部の積極的なご参観をお願い致します。



# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

## 特待生になつて



珠悠支部 中二

八木 悠圭

小学生から書道を始め、ついに特待生になることができうれしく思います。ここまでこれたのは丁寧に指導してくださった先生のおかげです。友達の励ましもありました。もっと上達できるように、これからも続けていきたいです。

**支部長先生より一言** 伸び伸びと美しい線が書けるのは悠圭ちゃんの一番の強みです。一段と磨きをかけ自分でものにして下さい。

## 二冠達成



飯山支部 中三

西澤茉奈

毛筆につづいて、硬筆も特待生になることができました。硬筆はあまり得意としていなかったのでとても嬉しく思います。熱心に指導して下さった先生、支えてくれた親に感謝しそれからも頑張っていきたいです。

**支部長先生より一言** 二冠おめでとう。部活との両立の中よく頑張りましたね。これからも一層の躍進を願っています。

## よくやった自分



竹華支部 中三

井上 真智子

私は様々なことを諦めきました。例えば福島震災で柔道を、友達と仲違いでダンスを、中学受験でそろばんを止めました。しかし習字は止めず六年間励んだ結果、特待生になりました。先生と過去の私に感謝、ありがとうございます。

**支部長先生より一言** 色々な困難を乗り越えて手にした特待生。立派です。いつも笑顔で素晴らしい女性に成長しております。

## 集中して



富士見支部 中三

玉木 美成

小学校高学年から中学三年生まで書道を続けてきましたが、周りの子よりも始めるのが遅かったので、中学卒業までに特待生になれると思わなかつたけど、集中して書道に励み、特待生になることができました。ありがとうございます！今まで頑張つてありがとうございました。

**支部長先生より一言** 実力と努力、集中力で特待生合格！！御見事ですおめでとう！！明るい美成さん更なる飛躍を期待します。

## 念願の二冠



芙蓉第五支部 中三

原澤由展

私は小学校一年生の頃から毛筆、硬筆を習っていて、昨年は毛筆の特待生を取れただけで硬筆が取れませんでした。それでやっと念願の硬筆の特待生を取ることが出来てうれしいです。二冠達成出来 ありがとうございました。

**支部長先生より一言** 高校入試、部活と良く頑張り目標的達成し家族の方も大変でしたね。おめでとうございました。

## 感謝



若竹支部 中二

小山愛乃

特待生の合格を聞いた時はとても嬉しい気持ちになりました。今まで教えて頂いた先生には感謝の気持ちでいっぱいです。次は二冠を目指し、そして、いろんな字を書いていきたいので、ご指導よろしくお願ひいたします。

**支部長先生より一言** 優等生の愛乃さんは教室のお姉さんの存在です。古典も上達して興味ありますね。頑張って下さい。

## 念願の特待生



皓花支部 中二

中村心

小三から始めて、毎週頑張ってきたので、やっと特待生になれてうれしいです。先生のおかげで特待生になりました。ありがとうございます！今まで頑張つてきて良かったです！

**支部長先生より一言** いつも穏やかで落ち着いて筆が持てます。特待生優秀作品にも選ばれ良かったです。心がちゃんと、おめでとう。

## 感謝と喜び



柏心支部 中三

吉池愛来

私は小学六年生で書道を始め、少し遅めのスタートでした。それでも今回特待生になれたのは先生の支えがあったからだと感じています。合格したときは感謝の気持ちでいっぱいでした。本当にありがとうございます。

**支部長先生より一言** 特待生合格おめでとう。県展での三年連続特選受賞は見事、高校へ進学しても継続更なる飛躍を望みます。

## 特待生になつて



虹苑支部 中二

真壁美乃

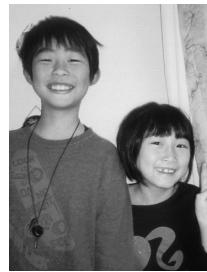
私は小一から始め、今年で七年目ついに特待生を取ることができました。これを取ることができたのは先生の毎回の適切なアドバイスがあつたからだと思います。合格してとても嬉しかつたです。本当に感謝しています。

**支部長先生より一言** 毛筆合格おめでとう。練習を重ね良く頑張りました。次の目標は硬筆ですね。応援しています。

# 少年少女のページ 「わたしの会の仲間達」

練馬支部

小二 坂田 蒼太朗  
小五 坂田 蒼太朗



土筆支部

小四 津田 葉菜  
小五 津田 葉菜



飯山支部

小五 木村 孔士



玄獄支部  
小三 福島 大輝

お教室では、堂々とし  
た文字を書く大輝君。得  
意な教科は図工と体育。  
明るく元気な少年です。  
塾の勉強とお習字の両立  
は、お母様の送迎の賜物  
です。

葉菜さんは、お手本を  
良く見て丁寧に書く頑  
張り屋さんです。毛筆  
も硬筆もとても上手に  
書き、将来が楽しみで  
す。

練馬支部 小六 樋 隼翔



土筆支部

小六 和田 美颯



おととなしく物静かな  
葉菜さんは、お手本を  
良く見て丁寧に書く頑  
張り屋さんです。毛筆  
も硬筆もとても上手に  
書き、将来が楽しみで  
す。

礼儀正しい隼翔君。  
春から附属中学校への  
進学が楽しみです。書  
道の文字は丁寧で繊細。  
ハサミで切り絵を作る  
のが得意という器用な  
一面も持っています。

神奈川支部  
小小五 肥田 千頬



愛心支部

小二 鬼十友希



学校では、金管バン  
ドに入っているようで  
す。筆の入り方、太さ、  
しっかりと書いていて、  
大人もびっくりする程  
形もすばらしいですよ。  
この調子ですよ。

理科の実験が好きな  
頬仁君は科学者に、算  
数と理科が好きな千鶴  
ちゃんは医者を夢見る  
仲良し兄弟。ゆっくり  
丁寧に書く事を心がけ  
て益々頑張って下さい。

飯山支部

小三 木村 壮



小五 木村 孔士



野球少年の孔士君。  
明るく、はつきりと答  
える返事がとても印象  
的です。力強い字にス  
ポーツマンらしさを感じ  
ます。これからも元  
気に頑張って下さい。



霞墨支部  
小六 檜山 紗季

お兄ちゃんと元気に  
通つて来てくれます。  
兄弟で野球少年として  
活躍している事、心よ  
り応援しております。  
野球同様書道も頑張  
ってね。

組む美颯さんは、お習  
字も真剣そのものです。  
何枚も納得のいくまで  
書き続ける姿勢は皆の  
手本になっていること  
でしょう。

北府支部

小小四 濱名 明き



幼稚園から硬筆、毛筆  
を習っています。字形に  
も関心を持ち、書く楽し  
みが分つて上達中です。  
他に剣道を習っていて書  
く姿勢は素晴らしい。今後  
が楽しみです。



いつも一番に元気な  
声で「こんにちは」と  
教室に来てくれる仲良  
し姉妹です。二人共半  
紙いっぱいに力強い字  
を書き集中力も抜群。  
これからも頑張って!!

今月の優秀作品



△隸書条幅▽ 評 久保 姫山

上條賢山 線に伸びやかさがあり、

全体感も良い。

牧野霽峰 雄大な線でゆったりとし

た作に出来た。

飯田天澄 太い線でスピードをつけ

堂々とした作品。

福田高苑 重厚な線を駆使して書か

れた作品である。

市瀬素州 動きのある線で、大胆に

まとめられた。

小池峰弦 誠実な線質で好感のもて

る作品。調子佳。

尾澤朋泉 細い線で書かれているが

力強い作である。

加藤穆舟 全体感よく書けた。線質

も良い。大佳。

柳澤玄嶽 緿度を深めた線で余白美

の冴えた秀作。

小室墨汀 含墨豊かで貫通力のある

清冽な作。

大佳。

柳澤玄嶽 構造正確で潤渴の変化あ

る格調高い作。

△通信条幅▽ 評 柳澤 玄嶽

高橋天翠 骨力ある筆の動きと大胆

な筆遣い見事。

堀之上峯山 確かな構造とつややかな

線。 大胆な筆づかいが紙面を生かしている。

横田四葉 大胆な筆づかいが紙面を

## 基本課題

評 久保 妍山

仲島秀峰 切れ味の鋭い線で書いている作。大佳。

天谷西草 全体感よくまとめられている。この調子。

布施杠華 穏やかな作風だが、線に冴えのある作品。

松尾小楓 伸びやかな線で、墨量豊かに仕上げた作。

## 研究課題

評 虎井 曉鐘

渋谷静秀 潤渴、墨色の美しさ、格調高い秀作。

浅井菖風 明快な点画で一字一字に緊張感がある。

下平成苑 腕法の大胆さは若々しく迫力に満ちている。

三沢泰仙 線の冴えを確かめながらの筆致、見事。

蔵法逆筆が冴えて信山流の清冽さを表現。

## 古典研究

評 杉山 曉雲

青柳緑水 ゆったりした余白に吸い込まれる線圧巻。

藤澤美泉 弾力の効いた運筆の美しさが楽しめる。

春日皓静 線の冴えを確かめながらの筆致、見事。

中原遊心 おおらかな腕法は積年の稽古による技。

## 師範部

### 楷書

評 藤岡 月華

華 穏やかな書法で、豊かさを感じる。

窓 一点一画ゆるぎなく、紙面構成は抜群。

悠 美しい線で、全体感が見事にまとまった。

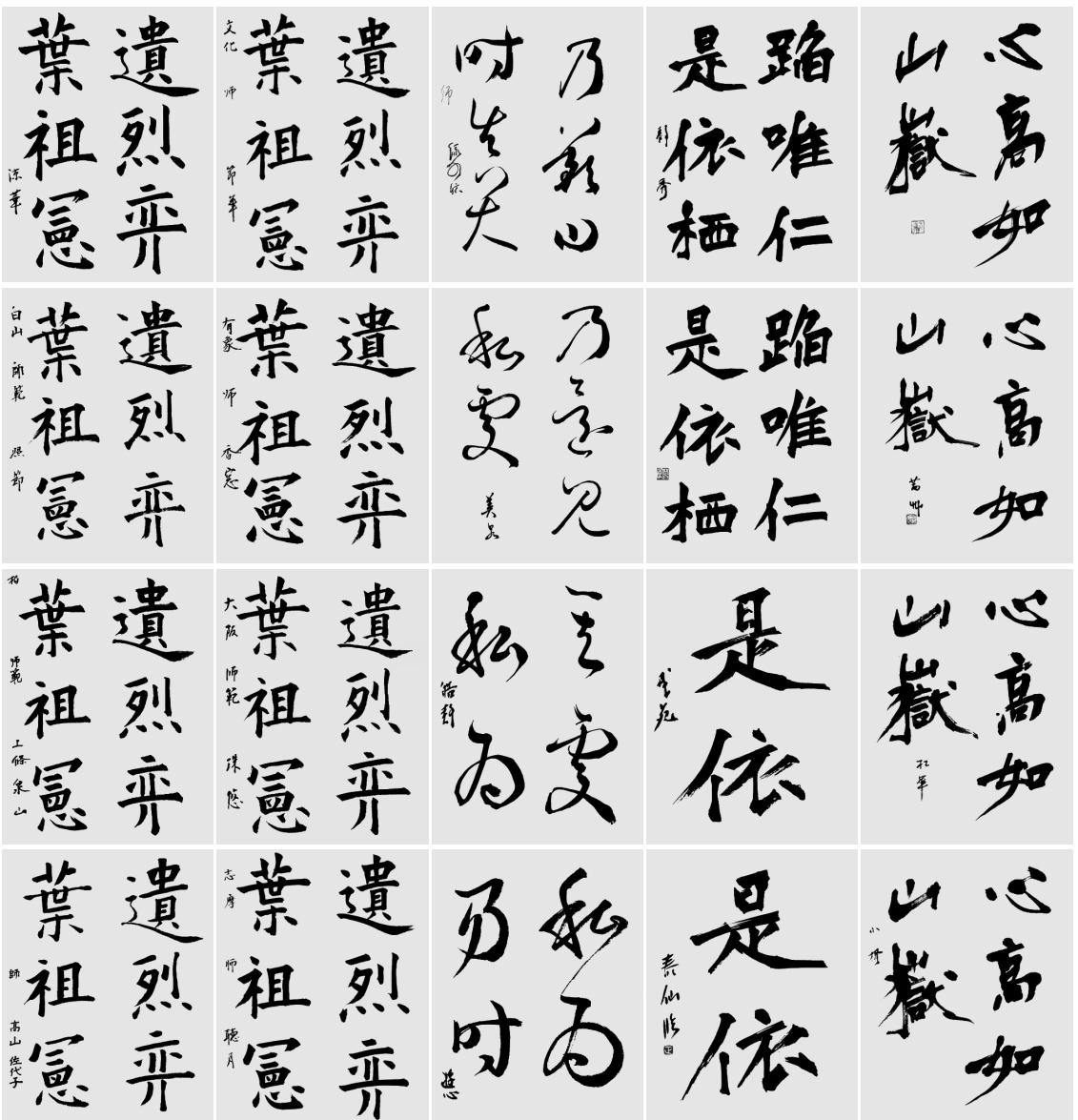
月 濃墨で、目の覚めるような線で素晴らしい。

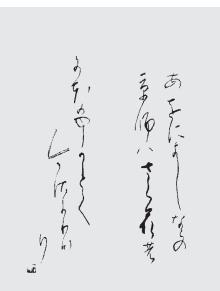
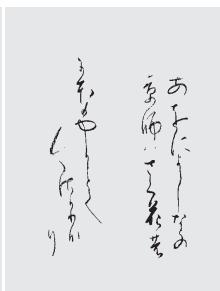
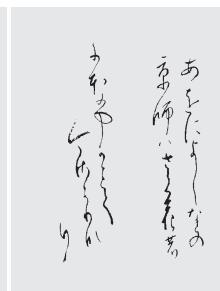
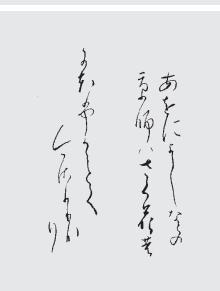
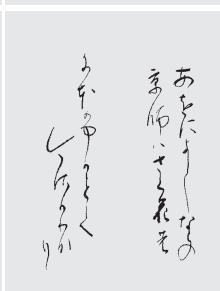
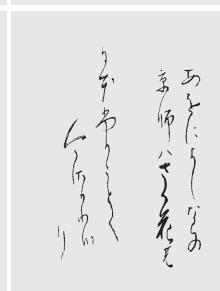
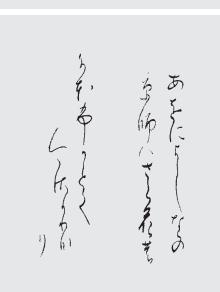
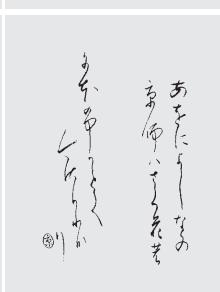
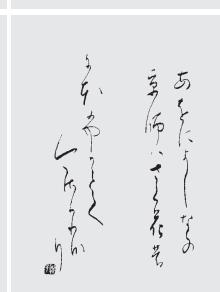
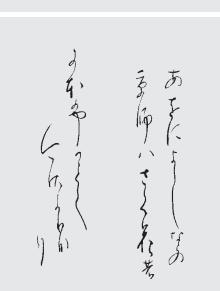
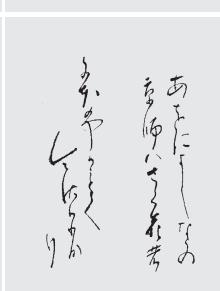
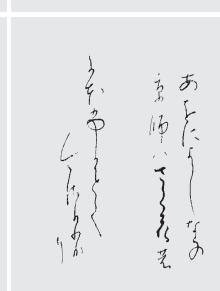
華 濃厚な筆線で、切れ味もよく明るい作。

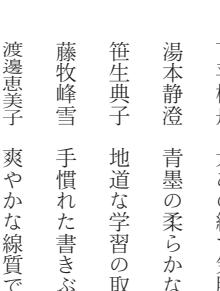
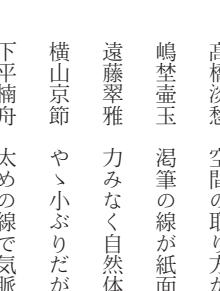
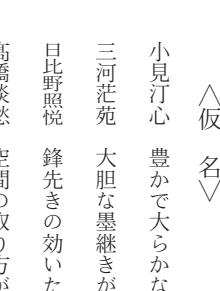
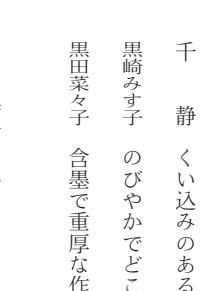
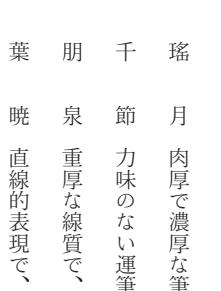
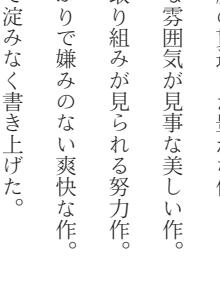
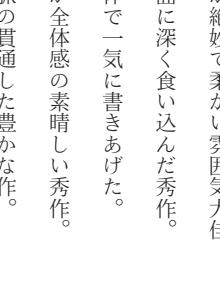
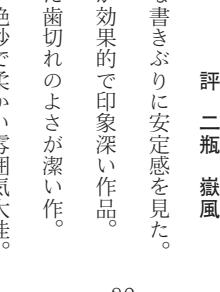
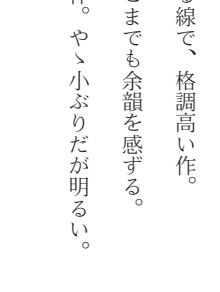
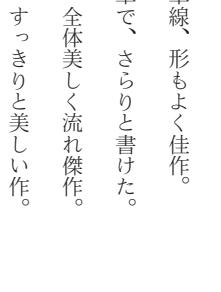
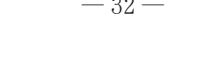
節 やゝ小ぶりだが、筆勢あり快作。

泉 山 写実に徹し、ゆとりあり秀作。

佐代子 線がやゝ細めだが、形良く、自然な作品。



### △仮名▽

評二瓶嶽風

小見汀心

豊かで大らかな書きぶりに安定感を見た。

三河荘苑

大胆な墨継ぎが効果的に印象深い作品。

日比野照悦

鋒先きの効いた歯切れのよさが潔い作。

高橋淡愁

空間の取り方が絶妙で柔かい雰囲気大佳。

嶋埜壘玉

渴筆の線が紙面に深く食い込んだ秀作。

遠藤翠雅

力みなく自然体で一気に書きあげた。

横山京節

やゝ小ぶりだが全体感の素晴らしい秀作。

下平楠舟

太めの線で氣脈の貫通した豊かな作。

湯本静澄

青墨の柔らかな雰囲気が見事な美しい作。

笛生典子

地道な学習の取り組みが見られる努力作。

藤牧峰雪

手慣れた書きぶりで嫌みのない爽快な作。

渡邊恵美子

爽やかな線質で淀みなく書き上げた。

翠 錠の切れ味が驚く程美しく、筆遣い秀。

瑤 月 肉厚で濃厚な筆線、形もよく佳作。

千 節 力味のない運筆で、さらりと書けた。

葉 晓 直線的表現で、すつきりと美しい作。

千 静 くい込みのある線で、格調高い作。

黒崎みす子 黒田菜々子 含墨で重厚な作。やゝ小ぶりだが明るい。

黒田菜々子 含墨で重厚な作。やゝ小ぶりだが明るい。

## 学生部

評 宮本 耕成

藤澤こと葉 堅実な書きぶりで堂々たる作品です。

平野夏輝 余白に迫る雄大な構成力はセンスがよい。

廣谷真結子 行書の柔かさを会得して伸びやかです。

中沢愛美 一字ずつしっかりとまとめて落ち着いています。

進歩的  
思考

久喜 中二  
藤澤こと葉

進歩的  
思考

中二 平野夏輝

線路は  
線路は

中一 廣谷真結子

線路は  
線路は

中一 中沢愛美

卒業  
写真

六年 庄村弘美

卒業  
写真

六年 土屋舞

書道  
の心

小五 西澤慶

書道  
の心

小五 安澤ゆうか

納得  
よひ

二年 中島大智

送別  
よひ

小二 土屋舞

前  
はち

小一 のだきよか

足  
はち

小一 まなと

## 半紙隨意

評 渡辺 華雪

このページに掲載された人には書象会より記念の  
筆をさし上げます。

中二 和仁袖菊乃

和仁袖菊乃 字形良く点画がしつかり書けて立派です。

伊奈小五茂呂和奏

茂呂和奏 力強く伸びやかな線でよい作品です。

送別  
よひ

小二 やなぎ原里お

前  
はち

小一 のだきよか

足  
はち

小一 まなと

森 愛翔

和仁袖菊乃 字形良く点画がしつかり書けて立派です。

伊奈小五茂呂和奏 力強く伸びやかな線でよい作品です。

阿部桜乃 線と空間のバランス良く堂々とした作品。

鈴木雄太 大きく伸びやか、名前も立派な作品です。

和仁袖菊乃 字形良く点画がしつかり書けて立派です。

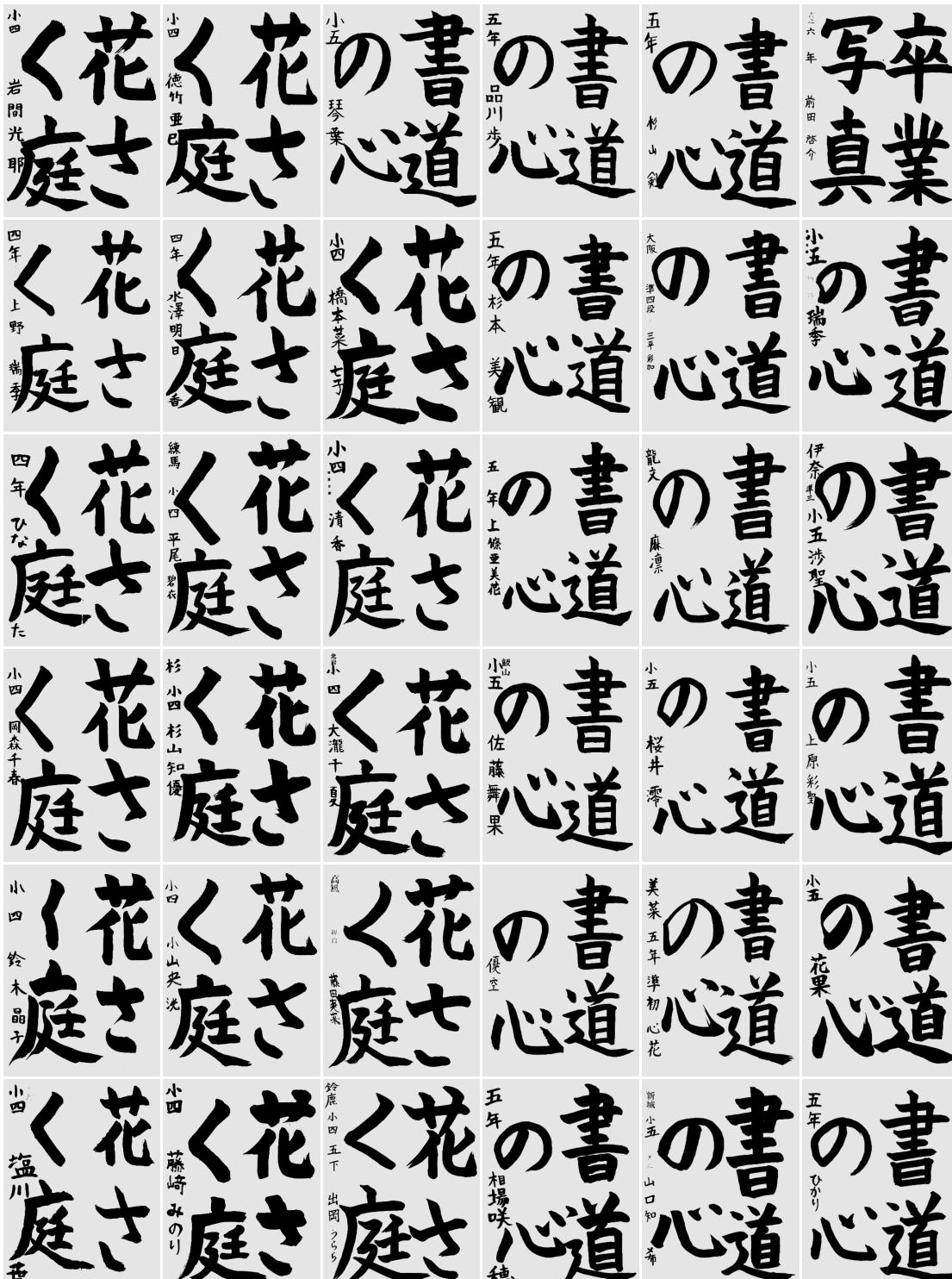
伊奈小五茂呂和奏 力強く伸びやかな線でよい作品です。

阿部桜乃 線と空間のバランス良く堂々とした作品。

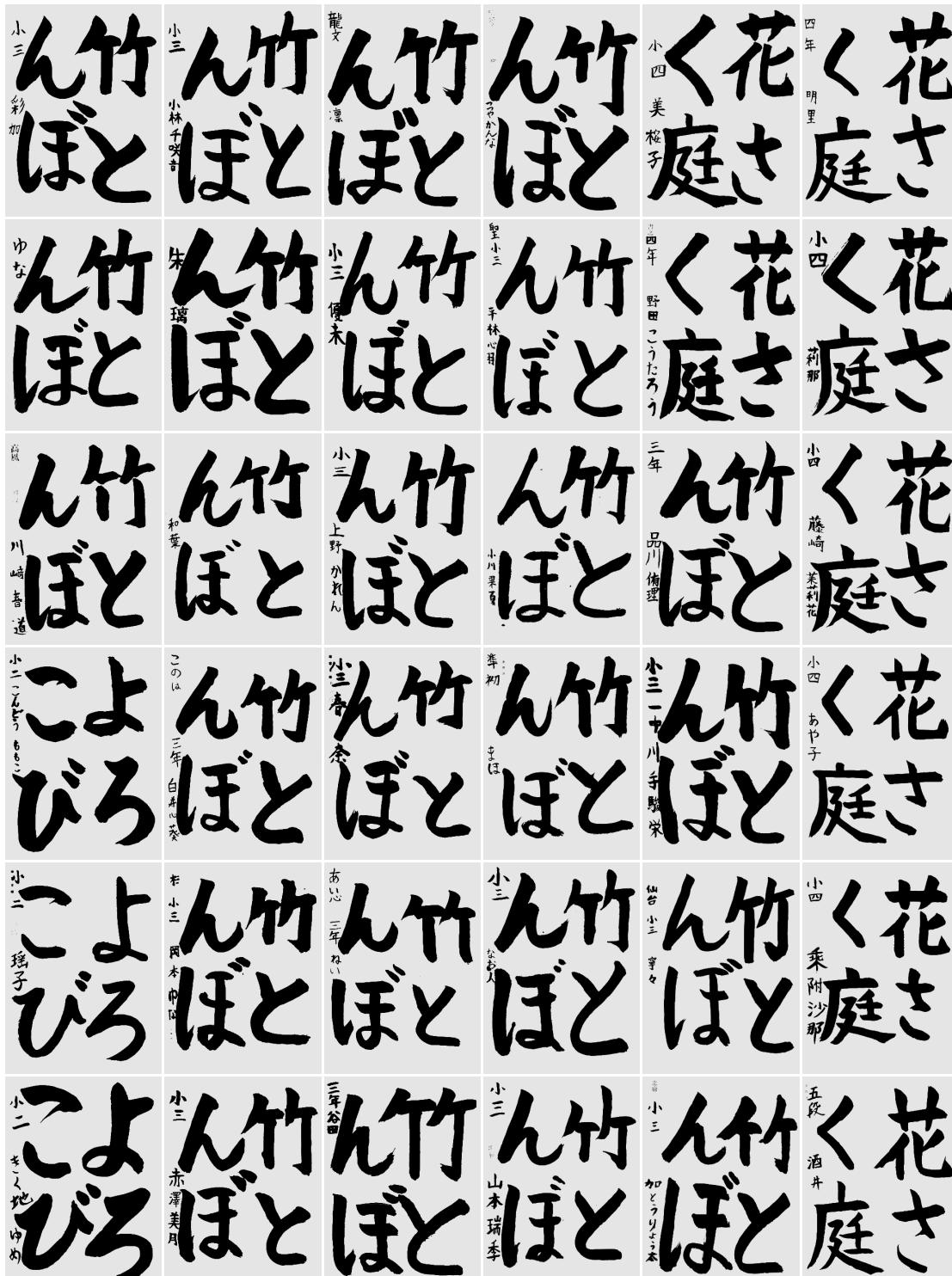
鈴木雄太 大きく伸びやか、名前も立派な作品です。

水華書大級京個八長汀玄若倭段假  
代雪集阪都人潮野松心松位名  
位中三若中大中相里井小西  
并烟浦并野島川木崎上田村  
圭麻明伸紗美美す子佐由宏  
圭子仁江東優優絵子紀美





書之	小五	華雪	伊奈	高社	長寿	中野
前田	平井	涉聖	彩聖	彩聖	瑞季	啓介
硯扇	上原	花果	花果	花果	花果	
霞墨	山本	丸山	山愛	山愛	山愛	
若竹	杉山	ひかり	皓花	光丘	高丘	
練馬	北府	大阪	御代	龍文	伊奈	
高風	八潮	三平	サン	新東	書之	
高社	華雪	飯山	美菜	湊	小四	
鈴鹿	往鄉	飯山	玄樸	山口		
高風	高風	硯扇	硯扇	山口		
北府	北府	硯扇	硯扇	山口		
高瀧	高瀧	玄樸	玄樸	山口		
谷崎	橋本七子	大園	品川	関口		
藤田	菜七子	相場	品川	桜井		
大瀧	出岡	増野	品川	齊藤		
藤崎	徳竹	佐藤	杉本	杉本		
水澤	平尾	増野	上條	上條		
藤嶋	杉山	相場	亞美花	亞美花		
みのり	杉山	佐藤	美觀	美觀		
岩間	平尾	増野	步	步		
岩間	碧衣	佐藤	知希	知希		
光耶	碧衣	増野	心花	心花		
央洸	爽來	佐藤	麻凜	麻凜		
瑞季	麗	増野	霧	霧		
森	麗	佐藤	美觀	美觀		
高松	亞巳	佐藤	步	步		
ひなた	爽來	増野	知希	知希		
千春	麗	佐藤	心花	心花		
晶子	麗	佐藤	麻凜	麻凜		
葉	琴葉	佐藤	霧	霧		



宮地	優生	若松	硯	名東	品川	川手	駿河	上木
志摩	高風	華雪	秀雪	練馬	杉	柏心	三沢	藤嶋茉莉花
富貴	高風	華雪	美那	この	玄樸	茜	絵	莉那
菊野	近藤	川崎	山田	松尾	赤澤	朝日	美二	明里
地	地	地	地	地	地	心愛	酒井	裕美
結愛	瑠子	百湖	春道	加彩	奈美	宝春	田鍋	耕太郎
				心葵	奈美	聖	美桜子	
				和葉	英二	松聲		
				千咲音	高社	北府		
				佐井	玄嶽	仙台		
				谷田	龍文	若松		
				白井	倭	聖		
				佐々木	みな	美		
				春奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聲		
				奈	み	北		
				奈	み	府		
				奈	み	仙		
				奈	み	台		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美		
				奈	み	若		
				奈	み	松		
				奈	み	聖		
				奈	み	美</td		

四上 あつと	はち 小一 小林ましろ	はち 小二 たけ まつ葉 介	こよびろ 小二 たけ まつ葉 介	こよびろ 小二 二年 處邊 大喜	こよびろ 小二 三年 あゆみ 美和
みかわたくみ 小一	はち 小一 さくら	はち 小一 よしかわのー	こよびろ 小二 山中 えな	こよびろ 小二 稲木利 ひな	こよびろ 小二 あい 美和
はとりささき 小一	はち 小一 かのん	はち 小一 かのん	こよびろ 小二 ゆめの	こよびろ 小二 さくらん さくらん	こよびろ 小二 はる か
すずきれい 小一	はち 小一 へい 大坪 けい	はち 小一 ののか	こよびろ 小二 下村 はるか	こよびろ 小二 え 真衣	こよびろ 小二 いわ みやき
おおさかー中 かまばはなの 小一	はち 小一 はるか	おだ 小一 なお	こよびろ 小二 なごみ	こよびろ 小二 森高 梅梨	こよびろ 小二 いとう れいな
一年 そ うた	はち はな	はち 中山万絵子	こよびろ 小二 なづみ	こよびろ 小二 かわや こじゆ	こよびろ 小二 やがい ばなべ

漸	光丘	有穗	練馬	鮎沢	美和
書之	岩立	成田はるか	伊藤	岩野	実咲
大阪	芽依	若井	若井	翼	
秀雪	月	月	霞墨	秀雪	
飯山	杉月	英二	綾華	城彩	
照澤	横二	有象	倭	八潮	
英二	霞墨	一絵	玄黙	知床	
峰	龍文	美那	森高	加賀谷心絆	
皓花	有虹	那	竹澤	榎梨	
華雪	若松	横二	砂良	真衣	
山愛	霞墨	横二	井伊	菜摘	
柳岡	吉川	下村	坪井なごみ	中	
鎌部	のこ	遼	山中	愛名	
鈴木	吉見	遥香	中	濱崎有紀乃	
服部	藤原	柚月	山	寺澤葉之介	
蒼大	大坪	香音	井		
花埜	中原	茉白	伊		
花	増田	小林	田奈央		
礼	齋藤	中山	万悠子		
	三沢	吉見			

<table border="1"> <tr><td>い</td><td>の</td><td>ス</td></tr> <tr><td>ま</td><td>り</td><td>ー</td></tr> <tr><td>し</td><td>ん</td><td>パ</td></tr> <tr><td>た</td><td>ご</td><td>ー</td></tr> <tr><td>.</td><td>を</td><td>で</td></tr> <tr><td>達</td><td>軍</td><td>百</td></tr> <tr><td>あき</td><td>会</td><td>か</td></tr> <tr><td>希</td><td>歩</td><td>円</td></tr> </table>	い	の	ス	ま	り	ー	し	ん	パ	た	ご	ー	.	を	で	達	軍	百	あき	会	か	希	歩	円	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>
い	の	ス																									
ま	り	ー																									
し	ん	パ																									
た	ご	ー																									
.	を	で																									
達	軍	百																									
あき	会	か																									
希	歩	円																									
<table border="1"> <tr><td>い</td><td>の</td><td>ス</td></tr> <tr><td>ま</td><td>り</td><td>ー</td></tr> <tr><td>し</td><td>ん</td><td>パ</td></tr> <tr><td>た</td><td>ご</td><td>ー</td></tr> <tr><td>.</td><td>を</td><td>で</td></tr> <tr><td>達</td><td>軍</td><td>百</td></tr> <tr><td>あき</td><td>会</td><td>か</td></tr> <tr><td>希</td><td>歩</td><td>円</td></tr> </table>	い	の	ス	ま	り	ー	し	ん	パ	た	ご	ー	.	を	で	達	軍	百	あき	会	か	希	歩	円	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>
い	の	ス																									
ま	り	ー																									
し	ん	パ																									
た	ご	ー																									
.	を	で																									
達	軍	百																									
あき	会	か																									
希	歩	円																									
<table border="1"> <tr><td>い</td><td>の</td><td>ス</td></tr> <tr><td>ま</td><td>り</td><td>ー</td></tr> <tr><td>し</td><td>ん</td><td>パ</td></tr> <tr><td>た</td><td>ご</td><td>ー</td></tr> <tr><td>.</td><td>を</td><td>で</td></tr> <tr><td>達</td><td>軍</td><td>百</td></tr> <tr><td>あき</td><td>会</td><td>か</td></tr> <tr><td>希</td><td>歩</td><td>円</td></tr> </table>	い	の	ス	ま	り	ー	し	ん	パ	た	ご	ー	.	を	で	達	軍	百	あき	会	か	希	歩	円	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>
い	の	ス																									
ま	り	ー																									
し	ん	パ																									
た	ご	ー																									
.	を	で																									
達	軍	百																									
あき	会	か																									
希	歩	円																									
<table border="1"> <tr><td>い</td><td>の</td><td>ス</td></tr> <tr><td>ま</td><td>り</td><td>ー</td></tr> <tr><td>し</td><td>ん</td><td>パ</td></tr> <tr><td>た</td><td>ご</td><td>ー</td></tr> <tr><td>.</td><td>を</td><td>で</td></tr> <tr><td>達</td><td>軍</td><td>百</td></tr> <tr><td>あき</td><td>会</td><td>か</td></tr> <tr><td>希</td><td>歩</td><td>円</td></tr> </table>	い	の	ス	ま	り	ー	し	ん	パ	た	ご	ー	.	を	で	達	軍	百	あき	会	か	希	歩	円	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>	<p>三筆とは空海、嵯峨天皇、橋逸勢をいう。平安初期の能書家である。<small>中村喜樹</small></p>
い	の	ス																									
ま	り	ー																									
し	ん	パ																									
た	ご	ー																									
.	を	で																									
達	軍	百																									
あき	会	か																									
希	歩	円																									

〔硬筆〕

一般	小平	布施	杠華	彩奈	貞泉	原田	恵衣
【中学】	名東	諏訪	白倉	千曲	千曲	新城	臺
玄樸	船橋	浅野	関野	千曲	河野	河野	優
御牧	中村	成瀬	大象	大象	杉	杉	美
川上	村中	明日花	山愛	山愛	成瀬	成瀬	子
上	中	大	瑞祥	瑞祥	明日花	明日花	衣
ま	ま	大	津秋	津秋	佳那海	佳那海	子
おか	おか	六	帆希	帆希	希望	希望	子

小五・六	大象	山愛	小一・二	嵯峨	原田	恵衣
瑞祥	大象	瑞祥	皓花	皓花	新城	臺
津秋	津秋	津秋	若山	若山	河野	優
帆希	帆希	帆希	曉華	曉華	成瀬	美
千佳	千佳	千佳	珠悠	珠悠	明日花	子
陽菜	陽菜	陽菜	華雪	華雪	古澤	衣
健太	健太	健太	浅間	浅間	佳那海	子
祐奈	祐奈	祐奈	飯島	飯島	希望	子
らら	らら	らら	有彩	有彩	帆希	子
喜	喜	喜	由乃	由乃	帆希	子
帆	帆	帆	彩瑛	彩瑛	帆希	子
希	希	希	彩瑛	彩瑛	帆希	子
歩	歩	歩	希望	希望	帆希	子

競  
書  
成  
績

□写真版  
☆秀作  
○昇級

千嶺靜美巍央星　京上若　　静 巍 小高玄柏美茜玄靜檜飯聖小　玄磯自　産 玄八玄汀東磯白春石靜 柏白　志大有文 曲山 文那山　都里竹　山 平風櫻心菜 黙森田 平 橋辺産　吉 黙南心松陽辺岡翠峯　山 摩阪象化師楷 師 秀秀 静西京映翠木径絶雅鴻太静朗秀小恭杠木有続楠露茜頬玲素成花芳半小葉清想琴大光江蒼み千葉朋千瑞静佐泉照涼聴珠香節 篧　範 志草江雪峰山苑石楓幸仙一秀仙峰映影華華希舟苑沙山秀州苑瑠月里楓蕉遠花月我帆蕙峯子静曉泉節月翠子山節華月悠窓華											
汀瑞	若六	美宝富水顧富	富	北	東	北文萌	蒲	有	浅	富美芙蓉塙	東文茅磯茅皓網折晏擇土
松祥	宮卿	墨春士代雲士貴	府	光	府化象	田	象	間	士容一容尻聞化野	野花丘原墨森曜	秀秀秀
由名梗梗昭照哲都裕秋隆欽美陽藍千伶三厚嵐嘉健千禮凌頌友美寂曉靜玲さ文浩愛夕耀韶愛和	壺天盡幸	秀金錦葉美皓象柏泰溥花	枝	代	也	く	澤	み	惠		
子紗紗華惠子子光美代雪造德景川景那子子翠子夫子翠山美子翠麗素笙ら子子麗節節花泉光子	桜翠玉光峯	え節弦苑子花月園慧山仙									
正	聖梶	桐	北	磯甲東宝	富	相	汀	玄笠	源	照神瑞八	半 春央南
桂	友生	府	辺根春	貴	模	松	心原創	澤奈洋	戸	鳳	武駒
花優と真桜碧綵濤鷺隼仙葉葉葉琴紅寶天典華良敦初史明旭順玄勇泰邑澄照照憬名玄景桂礼春齊陽真美沙沙真珠玉喜怡笙栄肖桂	化	苑	化	桂	也	也	澤	奈	戸	鳳	武
峰美子以蘭瑞華泉石山翠涛草芳水雪春苑子英子子江代美美子勝穗峯仙峯子好和泉洗凜城翠子鳳花笙花美麗雪弓泉静香榮咲香仙華雪	府	尾	野州	月	野	野	心象月	府潮	月	暉南寿	月
静静遊珠君景美康康静鳳静令隆蘭曉弘善壺静晃静採龍初靜幸映映映水聖美和景峯壽衣知齡冬寿美芳啓	聖	長信	杉	葉	長	杉長	映	大葉	國八	葉土八長	葉聖長映
鶴幸心蘭子草仙蟻沙仙琳吟邦子二庭汀子一水映靜淑花雲泉章靜祥芳笙華煌果子子泉山月利真華雅香子子	智	野	月	野	心	象	月	府潮	月	暉心	墨
長玄　笠上笠　上玄八霞　静　玄珠玄国　笠葉長　梶八　御若　蒼松　高　玄嵐大　蒼　玄　　玄杉	野	嶽	原里原	里嶽潮墨	嶽紅嶽府	原月野	友潮	牧竹	穹戸	風	樸山手　穹　　樸
杏詠文泰泰陽泰陽湯祥逕湖静江小洗蕙珠澄景久泰泰ま照花虔慕み豊鐘貞欣妍研理久清白小朱翠蒼李春芝春亮杉光菖菖夕め晶	桂	淨	輝	伸	恵	す	な	美	ぐ	麗	美
静草子空咲寿映恭松秀山葉月堂敬静翠葉葉杏葉光惠薰舟子静巡山光み苑洞竹月象龍花子風葉董花浹玄里嶺華里風琴月風紅み山	華	柏	笠	笠	笠	長	竹	沙	竹	雪	竹
華華華智靜泰靜裕美や泰泰泰富文峻靜要靜松靜理秀華綾清名益華華華奧華華和耕麻恭華華品貞窓玲窓窓弥我彩已萌懼秀翠皓恒玉靜泰	江	よ	玄	珠	國	國	沙	華	御	御	長
駿聲慧芯子恵竪思靜輕い慶帛城桂靜靜靜澄竹唱韻望香光優羊羊志亭遊紋紋杏泉絢煌山水子月櫻陵影泉真窓心峰生山雲芳泉花華靜虹靜千信穹	サ	巍志霧乙龍	瑞	京	巍	巍	都	華	志	虹	京
香美松霞晴晨美茜苑汐舒千　陽名名名名匡邦信初悠和美博典流心孝楊溪ラ萌玻珠雅美久明佳春壺清汀整翔佑成珀蕙翠清雪虹彩寿真祥紗穂華	原	原	原	原	原	原	野	華	華	華	原
織子沙舟沙雪麗英心香山春　子琴想秀柏松楓楓楓代子楓楓溪花子舟風　エ玉松香西惠患海彩登公霄子鶴光美舟翠逕子園洋楓雅菜仙羊羊	惠	彩	代								
書杉玄　小覗　美　　玄杉国湊　玄湊　杉飯　　浅桐　　東石碁東顧　京　心麗虹　　サ大　巍サ志　　長瑞　雅志　之　耀　光　菜　嶽　府　嶽　月　耀田　間生　陽雲　都　和墨友　象　山　摩　翠祥　摩	ノ	山書	山書	山書	山書	山書	山書	山書	山書	山書	山書
成友耀光光真桃壽英士葵采秀雅華李華妙杉杉耀玉董祥容朋莉秀感千見江翔文敦嬉津美湖美芳明久碧詠豊千雲信江里香暎紀暎聰響名雅道直	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美	美
苑　帶奈　玄苑　奈備國美　湊　自　新　自　新一　六湊笠長　笠伊新皓　新美玄　平皓飯華若蒼珠硯乙　中華　成　華後府菜　南產阜　城　産　城路　会　原野　原那城花　城菜點　成花田雪竹穹紅訓	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑	苑
由南孝　朴穆澄溢淳由善裕菖鶴霽汀晨南厚朝　志和孝美鳳心淡彩陽佐美花美朋千晨泰静泰広美泰治彩紅敦翔摩優世霽順佑照梗成華汀秀珠硯尚	美	都	都	都	都	都	都	都	都	都	都
子彦之　山舟子子子子紀苑香茜秀流山花　苑春子子雪快愁江香子子天子実子玉凌洲松蕙姫子岑子乃翠子子紀子子道子悦花華暎心麗遊心山	厚	知	登	以智	患	嘉	加	津			
文　有　春　　産　白　磯游碩　　様　　産　　碩　　碩　　様　　紅惠游様　　京　倭巍　　樂　　樂　　玄　　香　　産書帶遊墨書彦　化　象　玖　吉　岡　辺　墨　雲　森　吉　雲　森　竹　川　墨　森　都　山　書　山　書　山　燐　吉　集　心研根	化	象	玖	吉	岡	辺	墨	雲	森	竹	川
虹紗秀亞有麗節麗麗高高秋香美葉葉泉多小佳英萌青翠真泰昌惠光文劍素天美惠禮明邦禮弦洋良綠雨幸笑霞澄小耀藤楨　清春翰久遊翠菜　美　紀　虹　月　子　美　　真　　湖　　苑　　花　　麗　扇　　泉　徑　　美　　梢　　子　琴　蓮　遠　禾　松　花　靜　雄　一　幸　星　水　嶽　山　風　里　彩　光　嶽　美　子　子　照　楓　楓　水　香　泉　子　泉　江　子　杏　子　子　桃　芳　子　嘉　溪　月　子	紀	紀	紀	紀	紀	紀	紀	紀	紀	紀	紀
玄青東畫平岡珠玄八　文　　様　　春　　文　　童　　船　　晚　　茅　　水　　有　　様　　磯　　游　　游　　美　　中　　磯　　足　　八　今　昭　石　松　南　八　東　　嶽　雲　光　集　成　谷　紅　成　戸　化　森　玖　化　橋　泉　野　代　象　森　辺　墨　五　勢　辺　羽　戸　井　島　烟　風　墨　南　和	化	象	玖	化	化	化	化	化	化	化	化
詠詠竹道谿雅通良素光舟節彩哲千京錦翠翠翠翠敬璫正志曉濱祥祥晨優廣豪葉葉葉由友美征里桂桂葉葉　真佐美照彩武清翔千南希春幹直蘭麗　か　惠　智　智	か										
茜李虹子嘲子明龍舟扇龍麗紅山代節風雅真桐陽絲子音ね豊道子月節光華山峰楓梢光子光光奈美耀坤明　希代子陽香春苑哲秋岳紅信雨子節節	か										
柏　　玄　　土　　巍　　岐　　小　　飯　　杉　　苗　　有　　備　　土　　右　　鏡　　長　　土　　南　　成　　港　　紅　　靜　　紅　　寿　　八　　小　　八　　玄　　若　　竹　　玄　　青　　惠　　心　　嶽　　筆　　山　　阜　　光　　田　　月　　象　　後　　筆　　丈　　黃　　寿　　曠　　墨　　城　　南　　雪　　雪　　台　　南　　黃　　南　　光　　奈　　默　　松　　友　　黙　　雲　　川	か										
華硯洞鹿芳詠芳光貞保和光光光完善健鬱松谿比ハ菖菖亞松梢錦壽寿寿蘭南悦窓紅竹紅昭訪萩錦祥小康心奏幸肇テ清五旭麻瑞明純千杏清双	ナ	利									
峰舟舟聲舟汀葉蘭松子子硯搖綾碩仁子恵沙彩コ珀朋佑沙菜琴苑泉敬鳳雅月花子煌泉柳鷗散子泉葉菊琇絹燈繪惠子子玄福蓉虹竹竹彩雪果葉葉	ナ										
宮　　京　　綾　　麗　　玄　　長　　聖　　巍　　葉　　笠　　霞　　飯　　董　　珠　　唯　　中　　杉　　光　　書　　富　　伊　　玄　　四　　書　　玄　　鏡　　藏　　靜　　六　　紅　　瀬　　須　　妙　　瀬　　瀬　　妻　　瀬　　柏　　秀　　地　　都　　華　　墨　　心　　翠　　山　　月　　原　　墨　　田　　紅　　心　　野　丘　　之　　貴　　余　　準　　默　　集　　默　　黃　　象　　鄉　　雪　　戸　　坂　　高　　戶　　科　　戶　　心　　雪	か										
信真和紀照紅和雅優桂惠眉百安米雅降珠勝輝珠聰康紅夏麻裕奈藍菜範清志光翁豁愛雨天錦梅靜寿香紅桑一竹智萃白典友心友陶春喜蓮耘秀秀秀　合　葉　奈　々　津	か										
予弓子子美川雄子姫三美月子芸實子子惠江香楓子子流子美子々香子　天道紗彩祥鈴虹意雪秀成汀子彩軒風心真花羽子梅鈴松華清春春舟舟映悠溪	か										



高大蒼富	若御	静	大静今	蒼	港乙	柏	京靜中瀬	長笠折	源	港秋青東茅	自靜頃新中志	桺	芙南墨 風手弓貴		
竹牧	阪	井	穹	南訓	芳	都	勢戸	寿原原	創	南川雲光野	産翠雲城勢摩	森	五墨吉 秀秀秀秀秀秀		
憬清白祥光秀安嶽鐘恵太耕冠欣汀貞裕靜朗玻萌珠武菖菖玲憲忘博我信邦盈桂陶壽泰柏悠香雪窓芭翠竹拂暁清心靜武敦桂汐聖哲春壺南明 理															
花風葉仙風麗夫心嶽子一山紅泉月心竹靜散仙玉玉靜春風月象窓煌山舟山楓楓月富華敬香仙園水文永真苑峰苑虹え道遠快翠浩子美香嶽山海登岳花															
瀬董	東	桐	北	桺	備	土南小玄伊	玄美	玄美遊寿港	八小備	京	桺春石文書碩白有	玄晏	右土八	静神	富 戶
陽	生	府	森	後曜	墨	嶽奈	嶽菜	默咲	台南南光後	都	森玖峯化集雲岡象	樸墨	文曜南	余貴	
桑翠千千湊秀悠隼星天素菖菖ハ壮南光芳康清李壽大天英遊訪窓萩光菖博良英佳千瑠錦谿真玉耀夕淨翠亮輝小泰松梢鈴冬小京靜遊君優江櫟天 ナ															
軒桐靜苑石翠翠山紅妙風珀朋コ山花惠葉絹葉葉迷我意雪嘉泉心泉綾佑楓楓遠代月風陣靜泉花紅山汎風山董慧菜琴華雅翠江思惠心子月靜泉栄苑															
桺惠磯磯磯静	柏心長	志	董半	自	松浅	淺磯	碩中神松美	中八東八半瀬央	美	京桺	碩	玄妻須	富 森川邊		
心和翠	摩	田產	南間	間	雲	雲勢	風五	勢戸	戶戸	墨	都森	雲	嶽科坂		
光惠葉嬉葉靜	華蓮洞鹿芳硯楠朴美響涼聽香雪翠翠翠景和	南湖真穎葉壯多桂整千里桂桂桂直玄桂竹桂照哲都悠初小泰昌詠詠士春智典喜友心 真	厚	理	喜										
水彩苑子徑成	峰舟舟聲舟舟舟亭光華月苑園陽真雅紗城春	流泉子峯曉一子峰子秋奈翠羅香子凜翠心雪子子光楓楓琴雄幸汀李鳳清洲子春松鈴													
『『湊』』笠上美玄八書『『笠』』御玄湊玄櫛	京霧瑞有一『『笠』』上霞土大書產八玄岡	『『浅』』里墨曜泉集吉戸成谷間													
汀妙汀泰泰泰泰濤天燐逕成翠蕙泰泰泰豈貞鑑晶華晨燐泰津洋美彩美雅舒名愛幸久泰濤陽陽陽雪夕麗萌愛谿琴光素通愛詔祥朋彩優廣豪文 代															
紅仙茜凌舟城壽恭仙翠杏月美逕翠蕙空松葦苑翠泉洞山遙秀松楓楓楓子幸山松麗楓惠桂山松秀映霞霞鈴祥月扁舟光明泉映苑紅華山峰嶽															
東青東高桺長玄桺蒲	曉長映	長靜	若彥	國	巍	長信	長花	葉	杉	宝甲茅	サ	上	長 根		
根雲光風森翠心森田準泉野心野草根	府	山	ン	野大	野象	野月	春府野	月	尾	野					
秀秀秀秀秀秀秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀		
紅瑞千高喜佑玄涼文範泉晃映杏香南草	峯鶴景美雅景雨霞美茜久美豐詠直靜溪峻文秀靜要靜翠靜松皓照敏和壺明晚寶琴美碧康康幸恒靜 代	勇	美	惠											
雪竹子月游勝香子	志靜華靜靜月彥園	山苑光仙華泉香舟麗英子砂翠舟子千苑虹靜靜華信竹澄花望唱韻靜靜子子水光汀春水子舟沙春仙靜靜淑													
磯東皓東桺飯書	桐玄小茜笠	桺小映書映玄巖書東皓游	サ	魏葉靜長花中玄壽秀足華若	魏葉靜長央有小	葉大笠梶笠小玄墨六小京									
辺陽花陽山森集	生樸光原森	光心集心樸山集陽花墨	ン	山月野象野嶽台雪羽雪竹山書山	象平師硬月原原川樸心鄉光都										
葉感千皓見光惠愛谿雅濤濤春小茜泰小文光光映雨映小貞谿干翔征里千晨啓小靜翠禦芳昭秀美華京霞心美小珠四櫻杠	範筆弘圭泰虔泰流芝香光典 美														
栄心苑花綴水子鈴祥惠泉石里矚沙仙琴嶽惠綾華虹芳楓松疊靜子光繪雪子翠唱花華葉子悠子凌月泉花西映靜葉花華	子苑咲山弯溪華子穗楓														
華玄大山芙蓉樂	魏美玄神相	富石志雅美芙龍京虹	京志	八北	春光	大土八香	船東美白若玄中文有游								
雪樸手愛	山書	山墨心奈模	貴峯摩	那二文都友	都摩	南府	玖丘	阪曜南	橋蓉陽咲山松黙勢化象墨						
華華華華華知華め光瑛明小苑美笑松茜霞茜都玄懼初敦華典瑤汐雅霽め映明尚邦信初悠聴希春闋弘麗京由萌珠鈴真瑠壺江英照肇光桂曉有泉 ぐ夜実	香	理													
駿桜容優徇慧子紋ひ風華惠子心麗子沙草舟英光勝泉江子英子月香香峰み雪美子楓楓楓月紅信子美湖節里玉悠華雅子音桜風雪節子紗美麗美梢															
京上映国映	聖桺飯	笠珠倭樂書	聖	六葉	靜	瀬	瀬	伊	小	玄	大	港	瀬		
都尾心府心	森田	原悠	書	會	月	戶友	戶奈	光	嶽	戸泉	南	戸南雪	羽生		
洋津邦紀禮康康映雅恵東	素成菁泰泰知綠晴蕙花碧桺富典美千ま嵩芳君優竹葵典白友喜康光葵華李采心萌窓桑陶友萩華照佐	秀一秀 美笑	紀	惠嘉	智										
楓楓子子蟹惠笙華祥子美	州苑翠舟桂帛寫子水沙翠瑠蘭子子子子水子月心光子羽松春綱連霞葉葉葉鈴泉真心軒華梅泉煌陽代	翠	風子												
桺南草葉花小蒼華玄小巍静	春有足桺東華書龍麗京相石有	浅八北桺聖笠葉文志玄若玄皓東巍唯映	サ上												
森墨	森	變	象	羽	森	陽	雪	之文墨都	模	峯	象	南府	森		
佳廣南翠翠劍淳穆翠光妍華小杠西秀本	千夕真優敦華春成信琴美良洋麗明湖し美素佳瑞泰真美紗涼蒼梗廣皓紅翠	珠美香美直詠久康美約 代	の也	佐	奈	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀	秀		
蓮山岳紗桐山子舟花霞象喰楓華草峰	節節希華子杏穗子美夫羽子一吟苑泉ぶ子風蓮穗松子子虹華峯紗峯雲雪山	子岐舟織砂子舟子仙楓楓													
若淺文萌美靜平陸上蒼笠八茅青	浅自柏八座國靜美半	産白新文八華飯聖	高志妻	瀬志	長	靜	巍	長	千	長	長	千	長		
竹間化象一翠成花里穹原戶野雲	間	產	戶吉府	五田	吉	岡城化	戸雪田	風	摩	野	野	野	野		
欣蓉曉靜天靜智皓濤秀泰次曉美麻愛清泉光想笙盈春景高秋朋敦麗和華成花白祥汐惜白陶清溪靜珠靜霞恭翠宏半夕耀杏梓靜壺靜靜象文小 惠知															
月光麗素翠翠子花仙麗瓈弘道子虹子光遠山扇花仙月海城苑麗泉子節光凌苑瑠葉仙春香葉子苑唱琳蕙惠秀泉光山美里紅楓靜虹澄水淑志洲月嶽琴															
蒼靜	京巍土玄	央	昇	遊	相	若	桺	產	玄	小	京	長	國		
穹研	都	山	曜	心	墨	模	宮	森	北	吉	長	國	長		
菖靜	都	山	曜	心	墨	模	宮	森	北	吉	長	國	長		
風秀	子	楓	松	仙	穗	苑	花	慧	嘉	子	紅	暉	松		
若笠水產茅靜玄書美若玄北長靜若巍	桺伊神折上桺高長信	長	靜	港志玄	巍	藏	文	石	野	茅	小	千	長		
竹原代吉野	成集一宮	樸	府	翠	竹	山	森	奈	龍	原	尾	森	野		
欣泰峰琴益穆雨天梗続寂秀京太貞文か恵柏康溥慨靜梓靜皓江秀空楊好霞江惠遊蘭淳美小茜靜靜竹玄劍曉光渓文秀緑翠裕小夕	ト	シ	テ	イ	カ	シ	テ	イ	カ	シ	テ	イ	カ		
月舟雪月弦月舟虹翠華翠光江一松嶽る風園春山花千虹唱靜靜峰真舟葉舟茜香心節月子子琇沙山仙江香園繪水春扇花月舟山絵一月華	月心														
富靜大玄高	笠湊	サ	玄	暁	相	富	桺	白	玄	北	土	茅	澤		
貴阪樸風	原	シ	樸	月	模	貴	五	樸	北	白	土	茅	澤		
谷佐田白有泰広吉小星伊太平敦典段	隸	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書	書		
俊藤中井	水	森	野	藤	田	賀									
瑛竹満め希昂姫安最早と荷紫子															
石	書	サ	長	静	玄	八	巍	長	信	飯	巍	長	御		
峯	集	シ	野	樸	潮	山	野	大	田	山	野	野	竹		
翠竹雨里恒靜秀翠美翠富秀文梓成貞映貞恭花楊靜珠香隼集玉蘭香正遊皓美緑	古	典	研究												
嵐鷗虹絵静淑峰法優山靜華虹苑松春翠光瑠舟秀蘭窓密遥山泉月織純心靜泉水															



□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

長柾中東桜紅八	大大秀玄	松一李錦美花秀大美中希大柏若水	有中り土唯	秀大光	四赤暁大沙	皓有静玄浅新柏中笠大華暁中	杉上龍
寿友野陽森竹南	象阪雪心	戸路光黄墨雲雪内二野望象芳竹代	3象野ん筆心	雪阪丘	谷石月淀羅	花穂翠嶽間城芳央原手雪月野	尾文光
寿浅湯清堀下山塚石吉今雅金高渡金齊小寺松山稻佐中齋原真級	永清早亞古鈴能河今酒藤高宮周道對二北加伊望原神真阿市藤斉後金吉鱸竹井	○○○○	○	○	○	○	○
野本水内垣本越原井國	子橋部子藤森澤本草葉藤田藤由井	井川利木本澤辺井音杉下喜嘉中ツ村藤勢月露林篠部川田木藤井村桃村上	香洋瑠智芳美詩菜理美真子千美花龍美朱弘奈幸芽未紫美龍美主	靖美桃沙恵納ひ真恵秀眞優如婧正暉寺瑞里崎清子桃良泰沙祐瑞笑眞楓和	○	○	○
李帶秀山硯	長	葉長晴美神秀光有一帶優美平秋倚華東備秀李	麗	希新平秋皓大碩一名	柏若笠山秀大光杉星若高備大華秦中富	秀花皓蒼	○
6中雪愛扇	寿	月野美二龍雪丘虹路中生二成川雲雪根後雪光	墨	5望城成川花淀雲路東	芳竹原愛雪阪丘	松社後井雪野貴4雪象花穹	○
○	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○
櫻級	體間紺宮上寿福三植石向松柳川鈴森美川安広宇斎高近伊小尾高級	築小市林岸土佐大上竹渡加佐原大高貴上古笛峠池大田山竹級	佐本渡山本	塚中谷鳴島	土木村澤井尾澤上木慶会室滝沢野藤谷庭柳崎田	山比田村愛本屋藤津條内会藤井田住橋島久賀川比田久中田之	夕間瀬本
勝美紀文寿敬幸太元幸美男友美子沼瞳今卓育綾華ア朱水由倫	祥賀篤友早さ啖伸和良明悠瑞彩裕に保仁悠恵保和さ内	木健之愛	○	○	○	○	○
笠	大富美平大唯北平李美	華暁観大	秀葉聖観大	大皓一北美美自倚華八笠若竹大横小春	光大神西秀光珠	大平有八硯備華中桜	大照原
原	手土二成定心府成光二	雪	8月家	扇手淀花路府二一産雲南雪原竹華阪浜光玖	7丘井奈	雪丘紅	淀成虹潮扇后雪勢森
柳宮闕石小沓柱聴竹遠原穴栗森三種田竹大相	今三佐泉和吉杉植櫻小伏久畔手麻柿廣鈴西小級	須飛内吉加須一緒中寺佐坂鉛黃柳森浦征岩落	光鳥島千山出掛本	村山敬井原田垣中澤井澤本草本宮田保上塚衣沼中木川林	田田野田藤田	方西本藤俊木海武田本糸崎合松	鉄智惠季友夕敦子拓上二ゆ由由理昌
萬葉宣ま	優桂木興文幸崇薰弘山武田美希子有千久原晴	千治由彩明歩実尚尙三信哉	二瑞和み恵野と良愛	○	○	○	○
一相大	富聖笠聖六サ游紅櫻伊巍倭	葉ササ	大乙城伊有書	美京書玄久	北瀬玄船水富南華さ須	瀬	観晏新東
絵模版	準貴原会	墨竹森余山	月ン	阪訓彩奈象集	墨都の黙喜	府戸心橋代貴	大東晴光長
五	○	○	○	○	○	雪わ坂戸五硬	扇墨城根
秀大片段	川宮児川平星木中豪林高槻和衣渡伊友田大熊千平黒歌熊照古典森爽上中小永波勇測藤山渡梅清水水	段筆	君八中品那大岩那田岩宮	菅岡	崎下玉口井野村村か橋田	辺藤里中井野田田田池脇原谷多	上牧口部原水下野野光レ珠
昭藍泰璃ふ早友美峰お晴靖子利陽と江満凜珠春真菜節男子楳楓和奈章美内翠野峯千隆藍福華桐美勝美	千治由彩明歩実尚尙三信哉	二瑞和み恵野と良愛	○	○	○	○	○
船聖飯宵若石秀長玄游若若	玄華光華巍サ	倭長野桐若雅	富京光志心若秀華相有春城サッカ	大笠花新菫葉	秀信	游源エ紅靜秀さ若	若竹
橋月竹雪翠默松竹三心雪丘雪山	野辺宮	準貴都丘摩和松雪模象彩形	阪原象城月	四雪大	墨創光雪	雪わ竹	☆☆☆
四	飯植吉增土杉小影赤来上段	井榎加土峯石齊冲靜榎木竹安段	藍齊松福西小保大松村金日松山木大宮百本志平小	段	木梓大森岡澄坂紅佐耀石棍佐小田原	田原川田屋川崎林山井田野上谷藤屋村橋山真本村前藤	田原川田屋川崎林山井田野上木井橋田十田井原原田山村内本澤谷澤藤谷訪
裕裕成昌彰美翠夢浜恵八裕	美政恵伊美理由千淳澄梗雅	川伊麻由由秀め正奈佳倫眞明晚波珠雅ア世琴典	菊虹忍美邑子京彩竹合秀節舞早	田口下	田村潟久下川藤永	田津島江井	田百川原藤原裕裕成昌彰美翠夢浜恵八裕
四若名光練大茜游船桃丸飯国一名長東若皓	蒼玄船長	玄	華光書石霧新さ瀬溪和石船八船倭名	宵大聖信巍船央信峰溪若若雅瑞	勝玄勝倭	若文横華瀬秀	谷松東丘馬阪
谷	墨橋井悠田府路東野竹花隼准穹心橋翠	樸	雪丘之峯訪城わ戸月	峯橋潮橋東二月象	大山橋	大月松竹	様準木心木
☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
高加大川世坂青菊本高三前一熊富秋渡巣	井珀仁荒高川麗五安酒石膏舒和丸礫森松野桜	段佐小宮万須中西佐山中加汀清名段	山真後森	杉藤津口古中口木田島田和山糸切	会田上木井橋田十田井原原田山村内本澤谷澤藤谷訪	田口下田村潟久下川藤永	崎島藤知
優伸留貴有由佳千ゆ景ひ夢静河明み	真舟陽優眞美	嵐か秀幸節山彩正ち麻孝高理美舞美	豔夏美里美友齊間果歩昌心雅洸	晶玄豊子	豈有由佳千ゆ景ひ夢静河明み	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪
樺小サ正磯千	ハ華空瀬秀秋	ハ城若御溪上李静名乙石小練	源磯玄秀華玄東大花大秀光葉	聖勝秀り山小聖サ高嵐葉境中御舞小	秀信	游源エ紅靜秀さ若	若竹
森平ノ桂辺曲	雪樓戸雪川	樸彩竹牧月尾光翠東峯平馬	準創辺櫻雪黙陽象阪雪丘月	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	墨創光雪	雪わ竹
☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
奥藤石川井小門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	香酒済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
井	原井	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
有秋峰湊神華竹	秀大光玄竹千游	細国書大天国大靈桜和松華蔵秀瀬優新花李富有長水書玄優浅	若秀松和	大華小練高構八中富	大長書美	珠大東晴京北曉和若山	李春笠
象川	林雪華	雪阪丘樸華曲墨	3田府之阪府象墨森戸雪	雪戸尸生城雲貴虹翠代集黙生間2	2松雪戸	手雪光馬社浜南野士	茅野集二
○	○	○	○	○	○	○	○
近市藤愛倉中伊松今柳竹落須堺安長級	大保翠大芝田高堀大高栗上原吉宇渡寺金奥坂聟水三稲大松級	東松金田久藤久西平笛織新佐高宇塚杏橋柏	柏藤村村	科烟藤井國澤舎合田内沼藤竹島谷	住景中田内森橋原條田川田邊澤子崎後	野浦岡鶴岡岡本子保田保川岩戸村々橋田越	野野節友玲皓麻優真円茉良千里有由雅
美	羨	合裕茂洞美澄壺和由溪久亞久百和佳泉	弘惠裕和み紀あち直成彩祥洋	智華瑞友ゆ寺梢清惠芽美伸珠い喜峰祐希水	香奈千静祐美田原菜悠辰子木真川菜静祥瑞	根晴紗美	美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
湊美富山大門穴伊熊松虻泉清羽竹小辛未永唐木兄	秀香済秀鷗高林本林河友鰐宮西田甘早佐中坂平清増池後辻貞川神山	段谷川森染林井原井出端上山脇原藤川村さ田柴	田村林濱津玉	井田原橋間珠黒野木川村部中川島野山水井野藤岡山田中通	遙久晨谷梨上	上	上
美	羨	中澤橋山野	池藤木中上口	居本浪井本谷木藤山田村山津水山村愛瀬ソウ柴野葉井村子寿	木美柳	曾月田橋	真とス道智苑加
知酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根晴紗美
酒ス暁木芳級	小長大鐘間富高畠内流大伊鈴田井原貢首級	武古今酒森紺八安村山吉中築梅清小北林渡二脇小中稻吉若吉	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	木雪ん愛光	ソ山華月勢樸墨平初松化浜雪戸雪	根

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

4 4 3 特準	初	準 8 4 4 準初準三	準四	準五 準準四六準 7	二三準	準五六 準七準	六	七	八	準準	七準特準	特					
中上上 2 初	段	二中下上初段三	四段	五段中二三段段七下	段段四	五段段	七段八	段	段	八四	段八待八	待					
○	☆	○	☆☆	☆☆☆	○	☆☆☆	☆	☆☆☆	☆	□	毛支筆部	秀					
井小藤永中达堂石朝吉金和小	新	今若栗蘿菊廣森夏飯野糸肥福鈴大鑑	三小有勝佐宮清松相伊井小藤藻冲大太物所竹大門山田所上所富橋	手林田島澤草塚熊賀秉田筆珮杏居道井菜地瀬山塙嶋路井田木平浦野馬村久下治谷崎藤上牧原	山原野道雅澤平間内窪健原田下倉	△部	泉愛菜帆実花結亞玲優心珍夏愛	佳田漣梨翠優美蒼静澈亮ゆ智陽空彫麗明健寺華津間詠万莉良優桃由茱來菜和美大玖芽愛翔あ晋斗秋来莉源	7 6 2 2 1 特準	準 3 初四準	五特	準	特	8 8 7 5 三	8 6 6 5 5 8 8 5 2 2 2 1 1 特	8 8 6 5	
級	下中上 1 中 2 三	四上段段五	段 2 八	待	珠級 2 級級段	段下	中 上下上	下	中下中上	下	中上下上	△部					
○硬	○	○	☆	□	毛紅新	○○○○☆	△	○○○○○	○○	○○新	○○○○○	新					
ち筆美莉匠快	心	チ陵真美由水吉明彩青	未桜葵朝一筆	支岸伊田鈴小凜	吉茅中松廣小若鈴粟清福滝岸針保高梅新吉原伊澤田吉斎松鈴三高	△部	元	紅咲悟風逸陽	侃 衣	部上藤村木筆	川原村本瀬野菜木井治田澤上坂金橋田居原	藤田村田藤尾木浦尾	△部				
元	△部	え真子幸奈晶郎花水空	え沙子加日実	茉礼初里愛來	汐優美彩愛澤通礼真万星茉萌杏ひ開田美巧礼ゆ初ま蒼彩里あ桃	△部	特	8 9 5 5 5 4 4 8	1特	1特	1初	1準四準	六準	7準	準		
2春	級二五	△下	下中上中上下	下 2 中 1	段	二段三段五	四段五段	六段段	段七	八	待	珠	毛悠				
鳳新新口	△硬	新	○	☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆☆	☆	☆	△部	毛支筆部					
和支上小青高筆	上小向三永富吉塚鉗押	小山松玉田五清中青坂向森水三奥鑑富平山玉塚小高田松松古大鍵水永末信平玉立水荒山八八奧半丸筆	△部	岬田倉木木	田倉木井	田田崎木村倉崎村中藤水川木井櫻口村手田田科井崎倉木中村田谷田久廣田家井川口木科木木手田口	里	湯楓優奏	湯楓梨智蒼優優捷拓心斗哉菜佑涼美沙未優航桃紗夏奈耀混仁杏実大心奏健陸康真歩実乃保優陽碧杏茱彩柔幻彩悠璃菜莉	7 6 2 2 1 特準	準 3 初四準	五特	準	特	8 8 7 5 三	8 6 6 5 5 8 8 5 2 2 2 1 1 特	8 8 6 5
△部	田明澤中大在齋滄吉中小土支	小筆山平本小西浜池平浜村大浜	筆文石豊佐菊吉上井大加川石松豊大井八井小佐菊仲吉萩村坂藤石曾矢小稻大	△部	田石野森原藤口居野松橋部柳	中田牛柳原田田上久田	△部	橋島々池成	間田角藤島橋田島角木上野々池島成原田田本橋我川甲場石	△部	実悠優優蒼梨飴ゆ桜美愛諒	愛賢悠諒光奈夏達幸花郁保	沙彩木悠遙	杏こな幸結沙琉彩有真梨結優木悠未遙杏美愛葵部慶睦咲咲	△部		
四準五準特	特 4 三 1	初	1初準特四準二六準準準特	5 4 初準六	8 7 6 5 8 5 特 5 4 準準五	2 2 1 準四準三準準六	7準準特	△部	田明澤中大在齋滄吉中小土支	小筆山平本小西浜池平浜村大浜	筆文石豊佐菊吉上井大加川石松豊大井八井小佐菊仲吉萩村坂藤石曾矢小稻大	△部	毛支筆部				
段五段五待	△瑞	段△	上段初 1	七段段八六八待	級級級段三段	下中上下下 2	中上三四段	下中二段六段四五段	段八五待	△部	毛彩	○○○☆☆☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛床	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛床	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛床	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛床	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛床	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○○○○○	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2	上上下	1上三四段	知下中下	中 1 下 中 上	毛城	○☆硬	△部				
段五段五待	△瑞	段△	上上上中上	上段中下五段初七	八待	新 1 2											

□は写真版（昇級しない） ○は昇級（1階級昇級する） ☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

中央・長寿原・月・土筆・汀楓・照澤・東陽・内藤・中野・練馬・柏心・蓮田・葉月・晴美・半田・光ヶ丘・聖・ひまわり・富貴・富士見・船橋・書之会・芙蓉第一・芙蓉第二

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



注意・出品券には、最新の段級位を正確に記載してください。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

☆第18回杉並区書道人協会展  
▲書画予告▼  
会期　四月二十二日(土)～二十五日(火)  
会場　セシオン杉並  
(地下鉄丸ノ内線東高円寺徒歩7分)  
出品者　杉山暁雲 古賀沙苑 杉山窓影 牧野蘭亭  
武原幽節 (本会関係)  
会期　四月二十八日(金)～三十日(日)  
会場　大津市歴史博物館2階展示室  
出品者　武原幽節 (本会関係)

◆ 第33回成田山全国競書大会  
標記コンクールに多数応募いただき、活発な競書大会となりました。二月十一日に行われた全国各地巡回審査、三月十二日の中央審査を経て、十五名の中は四月下旬に送付されます。授賞式は四月一日(土)成田山新勝寺でとり行われました。

◆第75回謹慎書道会会展表輶式・桜華懇親会  
三月十六日正午から標記表彰式・祝賀  
ザ・プリンスパークタワー東京において開  
会の8名が出席し、厳肅な式典とて終了  
した。この会は、第6回書道展査評会及び最  
終選考会

◆都の回撫御事跡ノ傳説

書象会便り

